# 操作の流れと参照ガイド

## カメラの準備をする

| | | |
|---|---|---|
| 撮影前の準備をする ▶ | 撮影前の準備 | 9 |
| カメラの各機能をセットアップする ▶ | セットアップメニュー | 76 |

## 撮影する

| | | |
|---|---|---|
| オートで撮影する ▶ | 撮影する | 16 |
| 撮りたいシーンに合わせて撮影する ▶ | シーンモード・動画モードで撮影する | 26 |
| 動画で撮影する ▶ | シーンモード・動画モードで撮影する | 26 |
| 好みの設定にして撮影する ▶ | いろいろな撮影機能 | 39 |

## 再生する

| | | |
|---|---|---|
| 撮影しながら確認する… ▶ | 撮影した画像を確認する | 23 |
| 撮影後まとめて再生する… ▶ | 画像の再生 | 47 |

### …削除する

| | | |
|---|---|---|
| 撮影モードで削除する ▶ | 撮影した画像を確認する | 23 |
| 再生モードで削除する ▶ | 画像の再生 | 47 |
| まとめて削除する ▶ | 再生メニュー：削除 | 68 |

## ソフトウェアをインストールする

| | |
|---|---|
| ソフトウェアをインストールする ▶ | クイックスタートガイド（付属） |
| Nikon View 5 を使用する ▶ | Nikon View 5 リファレンスマニュアル（CD-ROM）（付属） |

## 画像を楽しむ

| | | |
|---|---|---|
| パソコンで楽しむ ▶ | 撮影した画像をパソコンに転送する | 30 |
| テレビで楽しむ ▶ | 撮影した画像をテレビで再生する | 38 |

# COOLPIX2000のマニュアルについて
クールピクス

COOLPIX2000には次の説明書が付属しています。製品をご使用になる前にこれらの説明書をよくお読みいただき、内容をご理解のうえ、正しくお使いください。

**クイックスタートガイド**
クイックスタートガイドは、COOLPIX 2000をすぐに楽しんでいただけるように、撮影前の準備から、撮影・再生、そして撮影した画像をパソコンに転送するところまでの基本操作をステップごとに簡単に説明しています。

**使用説明書**
使用説明書は、COOLPIX2000の操作方法と撮影した画像の楽しみ方について十分に理解していただけるように基本操作から応用まで順を追って詳しく説明しています。

**Nikon View 5 リファレンスマニュアル（CD-ROM）**
Nikon View 5リファレンスマニュアルは、COOLPIX2000に付属しているCD-ROM内に収録されています。
Nikon View 5リファレンスマニュアルの読み方については、この使用説明書の「撮影した画像をパソコンに転送する」をご覧ください。

# 安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。 |
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

## 絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合はプラグをコンセントから抜く)が描かれています。

## ⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止

**分解したり修理・改造をしないこと**

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止

すぐに修理依頼を

**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと**

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池、電源を抜いて、販売店または当社サービス部門に修理を依頼してください。

電池を取る
すぐに修理依頼を

**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと**

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。
電池を抜いて、販売店または当社サービス部門に修理を依頼してください。

水かけ禁止

**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと**

発火したり感電の原因となります。

使用禁止

**引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと**

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

発光禁止

**車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと**

事故の原因となります。

発光禁止

**スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと**

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

保管注意

**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと**

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

**ストラップが首に巻き付かないようにすること**
**特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと**

首に巻き付いて窒息の原因となります。

警告

**指定の電池または専用 AC アダプタを使用すること**

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

使用禁止

**AC アダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと**

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

## ⚠ 注意（カメラについて）

感電注意

**ぬれた手でさわらないこと**

感電の原因になることがあります。

保管注意

**製品は幼児の手の届かないところに置くこと**

ケガの原因になることがあります。

保管注意

**使用しないときは、電源スイッチをOFFにするか、太陽光のあたらない所に保管すること**

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと**

転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。

使用注意

**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと**

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。
病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

禁止

**長期間使用しないときは電源（電池や AC アダプタ）を外すこと**

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

プラグを抜く

ACアダプタで使用されている場合には、ACアダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

禁止

**本機器や AC アダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと**

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと**

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

## ⚠ 警告（アルカリ乾電池について）

禁止

**電池を火に入れたり、加熱しないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

**電池をショート、分解しないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

**電池に表示された警告・注意を守ること**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

**使用説明書に表示された電池を使用すること**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用禁止

**新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと**

液もれ、発熱の原因となります。

保管注意

**電池は幼児の手の届かない所に置くこと**

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

**電池の「＋」と「－」の向きをまちがえないようにすること**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

**水につけたり、ぬらさないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

**充電式電池以外は充電しないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

**使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること**

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

## ⚠ 危険（ニッケル水素電池・ニッカド電池について）

危険

**専用の充電器を使用すること**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

**電池を火に入れたり、加熱しないこと**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

**電池の「＋」と「－」の向きをまちがえないようにすること**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

**電池をショート、分解しないこと**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

**ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用禁止

**新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること**
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

## ⚠ 警告（ニッケル水素電池・ニッカド電池について）

警告

**電池に表示された警告・注意を守ること**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

**外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと**
**また、外装チューブがはがれたり、キズがついている電池は絶対に使用しないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

**水につけたり、ぬらさないこと**

液もれ、発熱の原因となります。

使用禁止

**変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと**

液もれ、発熱の原因となります。

保管注意

**電池は幼児の手の届かない所に置くこと**

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること**

液もれ、発熱の原因になります。

警告

**電池からもれた液が皮膚・衣服へついたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと**

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

警告

**電池をリサイクルするときや､やむなく廃棄するときはテープなどで接点部を絶縁すること**

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。当社サービス部門やリサイクル協力店へご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

警告

**使用説明書に表示された電池を使用すること**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

## ⚠ 注意（ニッケル水素電池・ニッカド電池について）

警告

**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと**

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

## ご確認ください

### ●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

### ●保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

### ●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

### ●著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

### ● DCFについて

COOLPIX2000は、Design rule for Camera File systems（DCF）に準拠しています。DCFは、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

### ●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（ACアダプタ、LCDフードなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでご使用ください。

- 他社製品との組み合せ使用により、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶モニタに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源スイッチをOFFにして電池を入れ直し、電源スイッチをONにしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますと電池が熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、いったんカメラから取りはずして再度カメラに取り付け、電源スイッチをONにしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態の時のデータは、失われるおそれがありますが、すでにコンパクトフラッシュカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、当社サービス部門にお問い合わせください。

# 目次

この章は次の３部で構成されています。

**はじめに（2～3）**

この使用説明書の構成と使用しているマークについて記載しています。

**各部の名称（4～8）**

COOLPIX2000の各部の名称について記載しています。

**撮影前の準備（9～14）**

撮影前の準備をステップごとに説明しています。

| | | |
|---|---|---|
| **ステップ1** | ストラップを取り付けます | 9 |
| **ステップ2** | 電池を入れます | 9～11 |
| **ステップ3** | コンパクトフラッシュカードを入れます | 11～12 |
| **ステップ4** | 日付と時刻を設定します | 13～14 |

# はじめに



このたびはニコンデジタルカメラCOOLPIX2000をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラCOOLPIX2000で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

この使用説明書は基本操作から応用操作へと順を追って理解していただくため、下記のように構成されています。

**「ご使用になる前に」**では、この使用説明書で使用しているマーク、カメラ各部の名称と機能、撮影前の準備などを説明しています。

**「基本操作」**では、COOLPIX2000の基本的な撮影方法と再生方法、およびシーンモードや動画モードについて紹介しています。デジタルカメラを初めてお使いになる方でも、ここを順にお読みいただければ、手軽に撮影をお楽しみいただけます。

**「撮影した画像の楽しみ方」**では、撮影した画像をパソコンに転送する方法とテレビで再生する方法を説明しています。

**「いろいろな撮影機能」**では各撮影機能の使用方法を、**「画像の再生」**では再生する画像の表示方法について紹介しています。

**「メニューの詳細」**では、カメラのメニューの各項目について詳しく説明しています。

**「付録」**ではカメラのお手入れ方法や別売アクセサリー、トラブル発生時の対処法などについて説明しています。

## 本文中のマークについて

この使用説明書は、次のマークを使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

| | |
|---|---|
| カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。 | カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。 |
| カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。 | 関連情報を記載した参照ページを記載しています。 |

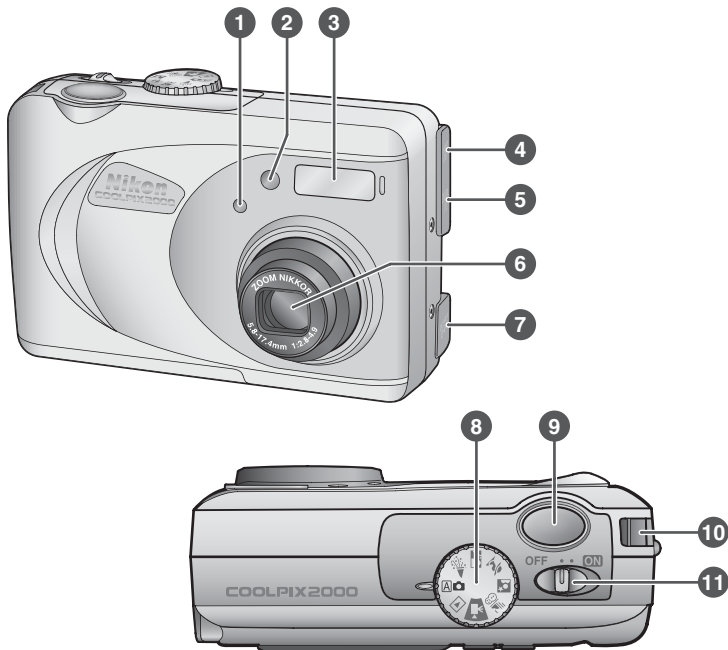
### カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

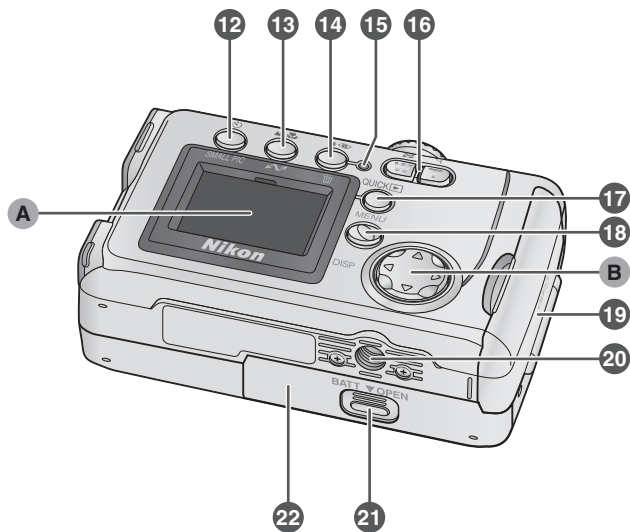
http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

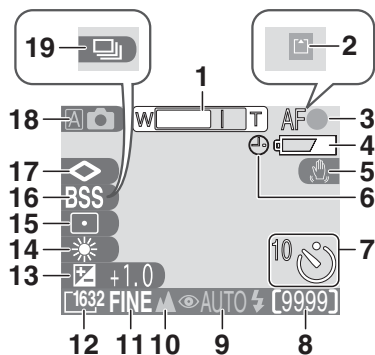
# 各部の名称



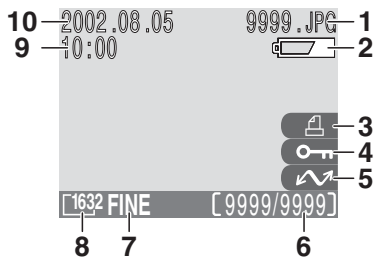
カメラ本体の名称について紹介します。詳しい説明は各部名称の右側に記載しているページをご参照ください。

| | |
|---|---|
| 1 | 調光センサー |
| 2 | セルフタイマーランプ................. 41 |
| 3 | スピードライト .......... 18、44、45 |
| 4 | ビデオ出力端子（カバー内側）.... 38 |
| 5 | USB 端子（カバー内側）............. 32 |
| 6 | レンズ........................................... 19 |
| 7 | DC 入力端子（カバー内側） |
| 8 | モードダイヤル .. 16、26、44、48 |
| 9 | シャッターボタン ...... 20、21、41 |
| 10 | ストラップ取り付け部.................... 9 |
| 11 | 電源スイッチ ............. 16、22、33 |
| 12 | (セルフタイマー）/ SMALL PIC. ボタン........... 41、52 |
| 13 | (フォーカスモード）/ (転送）ボタン ...... 32、33、40 |
| 14 | (スピードライトモード）/ (削除）ボタン .. 24、25、48、50 |

| | |
|---|---|
| **15** | スピードライトランプ........ 16、20 |
| **16** | ズームボタン（▣/🔍）<br>..................................... 19、42、43 |
| **17** | QUICK▶（クイックレビュー）ボタン<br>............................23、69、72、74 |
| **18** | MENU（メニュー）ボタン<br>.....................................56、67、76 |
| **19** | コンパクトフラッシュカードカバー<br>............................................ 11、12 |

| | |
|---|---|
| **20** | 三脚ネジ穴 |
| **21** | 電池室カバーロックボタン ............ 9 |
| **22** | 電池室カバー ..........................9、11 |
| **A** | 液晶モニタ ....................................... 6 |
| **B** | マルチセレクター ........................... 8 |

## A 液晶モニタ

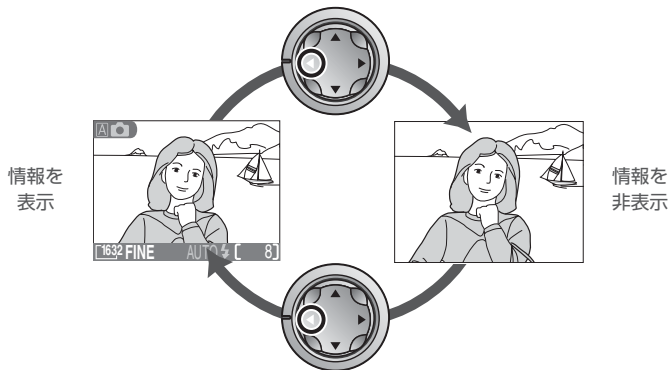
撮影時、液晶モニタには撮影する画像、およびカメラの設定内容が表示されます。表示されるカメラの設定内容は次の通りです。

| | | |
|---|---|---|
| 1 | ズーム表示 | 19、42、43 |
| 2 | 画像記録中表示[1] | 21、91 |
| 3 | AF表示[2] | 20 |
| 4 | バッテリーチェック[3] | 17 |
| 5 | 手ブレ警告[4] | 26、44、45、91 |
| 6 | 時計マーク[5] | 14 |
| 7 | セルフタイマー/カウントダウン表示 | 41 |
| 8 | カウンタ（撮影可能コマ数）<br>動画時間表示 | 17<br>28 |
| 9 | スピードライトモード | 26、44、45 |
| 10 | フォーカスモード | 40 |
| 11 | 画質モード | 58 |
| 12 | 画像サイズ | 59 |
| 13 | 露出補正マーク/露出補正値 | 65 |
| 14 | ホワイトバランス | 60、61 |
| 15 | 測光方式 | 62 |
| 16 | BSS | 64 |
| 17 | 輪郭強調 | 66 |
| 18 | 撮影モード/シーンモード | 16/26 |
| 19 | 連写モード[1] | 63 |

1) モニタの同一場所に表示されます。
2) シャッターボタンの半押し時のみ表示されます。
3) 電池残量が少なくなった場合に表示されます。
4) シャッタースピードが遅い場合に表示されます。
5) 日時が設定されていない場合に点滅表示します。

再生時、液晶モニタには撮影した画像および画像情報が表示されます。表示される画像情報は次の通りです。

| | | |
|---|---|---|
| 1 | ファイル名 | 49 |
| 2 | バッテリーチェック* | 17 |
| 3 | プリント表示 | 73、74 |
| 4 | プロテクト表示 | 69、72 |
| 5 | 転送マーク | 75 |
| 6 | 表示画像番号 / 総画像数 | |
| 7 | 画質モード | 58 |
| 8 | 画像サイズ | 59 |
| 9 | 撮影時刻 | 13、14 |
| 10 | 撮影日付 | 13、14 |

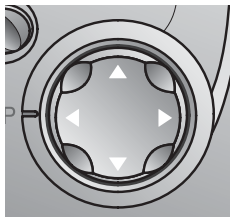
* 電池残量が少なくなった場合に表示されます。

## カメラの設定内容や画像情報の表示について

液晶モニタに表示されているカメラの設定内容や画像情報の表示を消すには、マルチセレクターの◀を押します。もう一度押すと再表示されます。

## B マルチセレクター

撮影時には、カメラの設定情報や画像情報の表示/非表示の切り換えを行います。

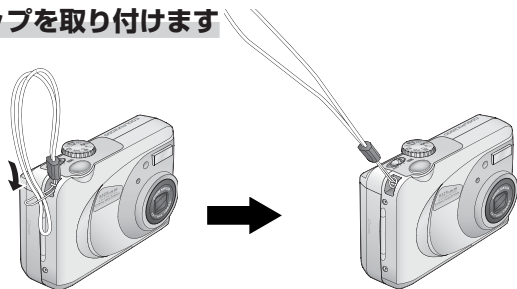
再生時には、表示画像の切り換えや選択( 48)、拡大した画像のスクロールに使用します。

また、撮影および再生時でのメニュー画面上の操作に使用します。

# 撮影前の準備

撮影前の準備を行います。

## ステップ１：ストラップを取り付けます

カメラにストラップを
取り付けます。

図のようにストラップ
を取り付けます。

## ステップ２：電池を入れます

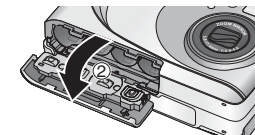
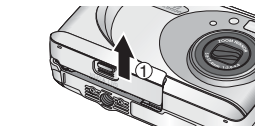
このカメラは単三形電池を４本使用します。使用可能な電池はアルカリ乾電池、ニッカド電池、ニッケル水素電池です。

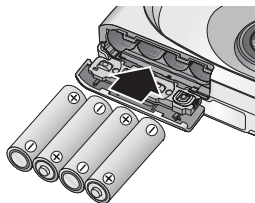
### 2.1 カメラの電源スイッチをOFFにします。

- 電池を入れる前に、必ず電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

### 2.2 電池室カバーを開けます。

- 電池室カバーロックボタンを押して、電池室カバーを①の方向にスライドさせます。

- 電池室カバーを開けます（②)。

### 2.3 電池を入れます。

- ＋、－の向きに注意して、図のように電池を入れます。

## 電池を取り出す場合のご注意

電池を取り出す場合は、カメラの電源スイッチがOFFになっていること、およびスピードライトランプが消灯していることを確認してください。

## 電池室カバーの取り扱いについて

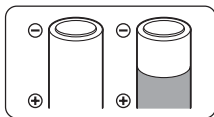
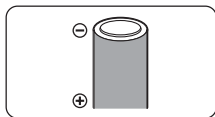
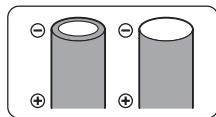
電池室カバーに無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。

## 電池についてのご注意

- 電池の取り扱いについては、電池の使用説明書をご参照ください。また、電池を入れる際は「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（ ii～vi）や「電池の取り扱いについて」（ 87）の注意事項を必ずお守りください。
- 電池の特性上、残量がなくなった電池を再度カメラに入れた場合、電池の容量が十分な状態(バッテリーチェック表示が現れない状態)を示すことがありますのでご注意ください。
- 単三形マンガン電池は電池寿命が短いため、COOLPIX2000の使用には適していません。

## このような形状の電池はご使用になれません

- 外装シール（絶縁被覆）を一部またはすべて剥がしている電池や、破れている電池を使用すると、液漏れ、発熱、破裂の原因となります。絶対に使用しないでください。
- 市販されているままの状態でも、電池によっては外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対に使用しないでください。

使用できない電池の形状

外装シールの一部またはすべてが剥がしてある電池

マイナス電極の一部が膨らんでいるが、外装シールが側面だけの電池

マイナス電極が平らな電池（マイナス電極が外装シールで覆われていても、覆われていなくても使用できません。）

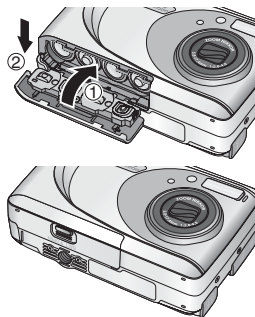
## 使用できるその他の電源について

COOLPIX2000は、その他の電源としてACアダプタEH-53（別売； 84）を使用できます。再生時やパソコンとの接続時などカメラを長時間ご使用になる場合はACアダプタEH-53を使用してください。その他のACアダプタは**絶対に使用しないでください**。カメラの故障、発熱の原因となります。

## 撮影された画像について

電池を取り出しても、コンパクトフラッシュカードに記録した画像には影響はありません。

# 2.4 電池室カバーを閉じます。

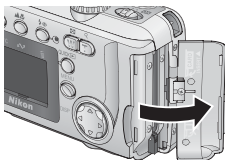
- 電池室カバーを①の方向に閉じます。
- 電池室カバーを三脚ネジ穴の方向(②)にカチッと音がするまでスライドさせます。
- カメラの操作中などに電池が落ちないように、カバーがしっかりと閉じていることを確認してください。

## ステップ3：コンパクトフラッシュカードを入れます

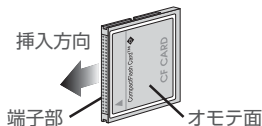
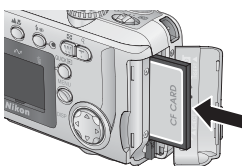
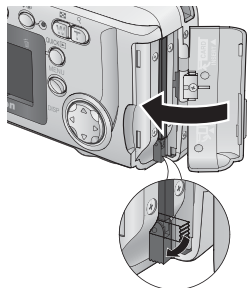
COOLPIX2000は、画像をコンパクトフラッシュカードに記録します。

# 3.1 カメラの電源スイッチをOFFにします。

- コンパクトフラッシュカードカバーを入れる前に、必ず電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

# 3.2 コンパクトフラッシュカードカバーを開けます。

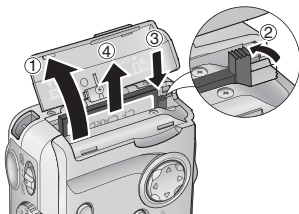
- 右図のようにコンパクトフラッシュカードカバーを開けます。

# 3.3 コンパクトフラッシュカードを入れます。

- コンパクトフラッシュカードは図のように差し込みます。
- コンパクトフラッシュカードは、奥までしっかりと差し込んでください。

3.4 イジェクトレバーが折りたたまれて収納されていることを確認して、コンパクトフラッシュカードカバーを閉じます。

### コンパクトフラッシュカードのフォーマット

付属のコンパクトフラッシュカードはCOOL PIX2000用にフォーマット済みです。その他のコンパクトフラッシュカードを初めてCOOLPIX2000で使用する場合は、あらかじめコンパクトフラッシュカードをフォーマットする必要があります。詳しい手順については、「カードフォーマット」(78) をご覧ください。

### コンパクトフラッシュカードを取り出すときは

- コンパクトフラッシュカードを取り出すときは、カメラの電源スイッチがOFFになっていることを必ず確認してください。
- コンパクトフラッシュカードカバーを開けます(①)。
- 折りたたまれているイジェクトレバーをまっすぐに立てて (②) 押し込みます (③)。
- コンパクトフラッシュカードの先端が少し出てきますので、取り扱いに注意して取り出してください (④)。
- カメラの使用直後にはコンパクトフラッシュカードが熱くなっていることがありますので、取り出す場合はご注意ください。

- コンパクトフラッシュカードの飛び出しにご注意ください。開口部を上向きにしていないと、勢いで飛び落ちてしまう場合があります。イジェクトレバーを押してコンパクトフラッシュカードが少し出た状態でも取り出しにくい場合は、手を添えて本体を横にするとコンパクトフラッシュカードが取り出しやすくなります。

### コンパクトフラッシュカードカバーを閉めるときは

コンパクトフラッシュカードカバーを閉めるときは、イジェクトレバーが折りたたまれていることを確認してください。コンパクトフラッシュカードを取り出した後はイジェクトレバーが飛び出した状態になっています。この場合、必ずイジェクトレバーを折りたたんで収納し、コンパクトフラッシュカードカバーを閉めてください。

## ステップ4：日付と時刻を設定します

COOLPIX2000には時計が内蔵されており、撮影した画像と動画には撮影日時が記録されます。カメラをはじめてお使いになる場合は、時計の日付と時刻は設定されていませんので、以下の手順に従って日時を設定してください。

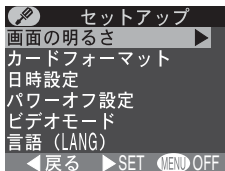
日時を設定する場合は、モードダイヤルを動画モード以外にセットしてください。

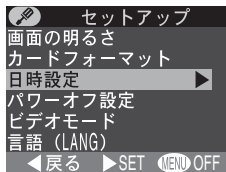
4.1

電源スイッチをONにしてMENUボタンを押すと、撮影メニューまたはセットアップ(再生モードの場合は再生メニューまたはセットアップ）を選択する画面が表示されます。

4.2

マルチセレクターの▼を押してセットアップを選択します。

4.3

▶を押して、セットアップメニューを表示させます。

4.4

▼を押して「日時設定」を選択します。

4.5

▶を押します。「日時設定」の画面に切り換わります。

4.6

「年」が緑で表示されます。▲または▼で年をセットします。

- 数値は▲を押すごとに大きくなり、▼を押すごとに小さくなります。

## 4.7

▶を押すと、「月」の設定に移ります。4.6、4.7の手順を繰り返して、月、日、時、分を順番に選択し、現在の日付・時刻に合わせます。

## 4.8

▶を押します。「年月日」の位置が緑で表示されます。

## 4.9

▲または▼で「年月日」「月日年」「日月年」の中から、日付の表示順を選択します。

## 4.10

セットアップ
画面の明るさ
カードフォーマット
日時設定 ▶
パワーオフ設定
ビデオモード
言語（LANG）
◀戻る ▶SET MENU OFF

▶を押します。表示順が決定して、日付と時刻が設定され、画面はセットアップメニューに戻ります。撮影画面（再生モードの場合は、再生画面）に戻るには、MENUボタンを押します。

### 時計用の電池について

COOLPIX2000の時計（日付・時刻）用の電池はカメラに内蔵されています。カメラに電池を入れるか、別売の専用ACアダプタを使用して家庭用電源に接続すると、時計用の電池は約1時間で充電されます。充電が完了すると、カメラの電池を取り出しても、記憶された日時は約24時間保持されます。長時間カメラに電池が入ってない場合は、記憶された日時データは失われますので、再度日時を設定してください。

- 充電が不十分な場合、一度セットした日時データは失われることがあります。
- 日時データが失われた場合は、液晶モニタに時計マーク（◷）が点滅します。

### 時計マークについて

日付と時刻が設定されていない場合は、撮影時に液晶モニタの右上に時計マークが点滅します（👁 6）。撮影した画像の撮影日時情報には「0000.00.00　00:00」と記録されます。

撮影する

撮影した画像を確認する

シーンモード・動画モードで撮影する

この章は次の３部で構成されています。

**撮影する（ 16～22）**

基本的な撮影方法をステップごとに説明します。

| | | |
|---|---|---|
| **ステップ１** | 撮影を始める前に | 16～17 |
| **ステップ２** | カメラの機能の初期設定を確認します | 18 |
| **ステップ３** | 構図を決めます | 19 |
| **ステップ４** | ピントを合わせて撮影します | 20～21 |
| **ステップ５** | 撮影を終了します | 22 |

**撮影した画像を確認する（ 23～25）**

画像を再生したり削除する方法を説明します。

**シーンモード・動画モードで撮影する（ 26～28）**

シーンモードや動画モードについて説明します。

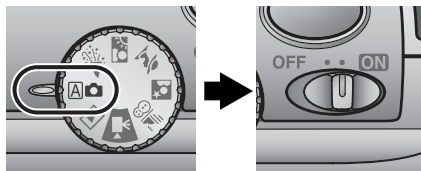
# 撮影する



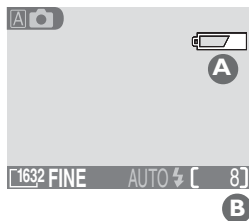
ここではモードダイヤルを Ａ📷（オート撮影）モードにセットして行う基本的な撮影方法について説明します。 Ａ📷 にセットすると、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的にセットされるので、初めてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

## ステップ 1：撮影を始める前に

撮影を始める前に、次の手順を行ってください。

1.1 モードダイヤルを Ａ📷 にセットして、カメラの電源スイッチをONにします。

- 液晶モニタに画像が表示されるまで、スピードライトランプが赤く点灯します。

## 1.2 液晶モニタの表示を確認します。

- 撮影を始める前に、バッテリーチェック表示（A）とカウンタ（撮影可能コマ数）（B）を確認します。

### *バッテリーチェック表示（A）*

バッテリーチェック表示については次の表を参考にしてください。

| 表示 | 意味 | カメラの状態 |
|---|---|---|
| 表示なし | 電池の残量は十分です。 | 通常 |
| (点灯) | 電池の残量が少なくなりました。新しい電池を用意することをおすすめします。 | 通常 |
| 電池残量がありません。 | 電池の残量がなくなりました。新しい電池と交換してください。 | 撮影できません |

### *カウンタ（撮影可能コマ数）（B）*

撮影可能コマ数は液晶モニタの下の部分に表示されます（B）。撮影可能コマ数は、装着しているコンパクトフラッシュカードのメモリー残量によって異なります。コンパクトフラッシュカードに撮影できるメモリー残量がない場合には、「メモリー残量がありません」という警告メッセージが表示され、撮影を行うことができません。新しいコンパクトフラッシュカードに交換するか、コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を削除してください（68）。ただし、画質モードや画像サイズを変更することによって、撮影できる場合もあります（58）。

## ステップ2：カメラの機能の初期設定を確認します

カメラを初めてご使用になる場合、カメラの各機能は、下の表のように設定されています（この状態を「初期設定」といいます）。ここでは、カメラの各機能を下の表の初期設定にして、撮影する手順について説明します。

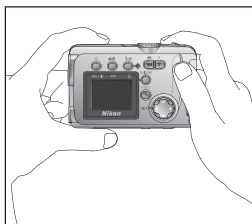
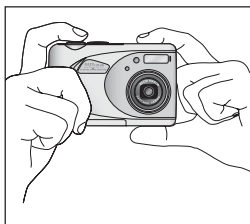
カメラの各機能を初期設定から変更する場合は、各参照ページをご覧ください。

| 項目 | 初期設定 | 初期設定の内容 | 参照 |
|---|---|---|---|
| フォーカスモード | 通常AFモード | 30cm以上の被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。 | 40 |
| スピードライトモード | AUTO | 被写体が暗いときに、自動的にスピードライトを発光します。 | 44～45 |
| 画質モード | FINE | 記念撮影などの通常の撮影に適しています。 | 58 |
| 画像サイズ | 1632 | 画像サイズは1632×1224ピクセルです。ハガキサイズ程度の大きさにプリントする場合に適しています。 | 59 |
| 連写モード | 単写 | シャッターボタンを押し込むごとに1コマの画像を撮影します。 | 63 |

## ステップ3：構図を決めます

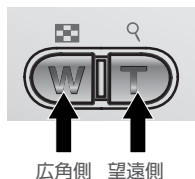
モードダイヤルを A📷 にセットして、カメラの設定を確認したら、撮影する画像の構図を決めます。

### 3.1 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、カメラは両手でしっかりと持ってください。

### 3.2 構図を決めます。

写したいものにレンズを向け、液晶モニタを見ながら構図を決めます。

- COOLPIX2000は、3倍のズームレンズを装備しています。ズームボタン（W および T ボタン）を押すことにより、撮影する範囲を変更することができます。
- W ボタンを押すと、液晶モニタに映る範囲が徐々に広くなります（「広角側にズーミングする」といいます）。
- T ボタンを押すと、液晶モニタには被写体が徐々に大きく映ります（「望遠側にズーミングする」といいます）。
- 最も望遠側で T ボタンを押し続けると、自動的に電子ズームが作動し、さらに2.5倍まで被写体を大きく映すことができます。（43）。電子ズームが作動すると、ズーム表示の色は黄色になります。

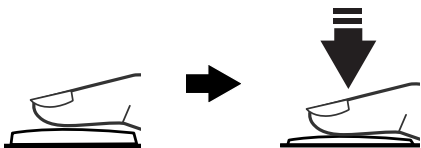
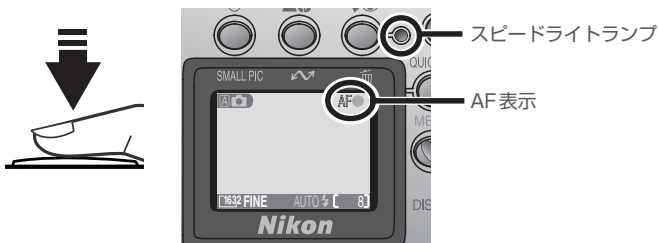
広角側　望遠側

上の表示はズームの量を表します。このズーム表示は、W または T を押し続けると変化します。

### カメラを構えるときのご注意

カメラ前面のレンズやスピードライト発光部などに指や髪、ストラップ、ACアダプタのコードがかかったり、写り込んだりしないように注意してください。

## ステップ４：ピントを合わせて撮影します

4.1 シャッターボタンを半押しして、ピントが合っていることを確認します。

- シャッターボタンを軽く押して、途中で止める動作を「シャッターボタンを半押しする」といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、半押し中はピントと露出が固定されます。

- シャッターボタンの半押しで、AF表示およびスピードライトランプの状態を確認できます。

| 状態 | | 意味 |
|---|---|---|
| AF表示 | 緑色点灯 | 被写体にピントが合っています。 |
| | 赤色点滅 | 被写体にピントを合わせることができません。構図を変えて再度ピントを合わせてください。 |
| スピードライトランプ | 点灯 | 被写体が暗いため、スピードライトを発光します。 |
| | 点滅 | スピードライトが充電中です。シャッターボタンから指を離して、もう一度押し直してください。 |
| | 消灯 | 被写体が明るいため、スピードライトは発光しません。 |

## 4.2 ゆっくりとシャッターボタンを押し込み、撮影します。

- シャッターボタンを最後まで押し込むと撮影できます。
- 撮影後、画像がコンパクトフラッシュカードへ記録されるまでの数秒間、液晶モニタに撮影画像が表示されます。

### オートフォーカスが苦手な被写体について

COOLPIX2000のオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体についてピント合わせが可能ですが、次の被写体の場合、条件によってオートフォーカスでのピント合わせが正常にできないことがあります。

- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）を撮影する場合
- 動きの速い被写体を撮影する場合

### 手ブレについてのご注意

シャッターボタンを一気に押すと手ブレの原因になります。シャッターボタンはゆっくりと押し込んでください。

### ピント合わせについて

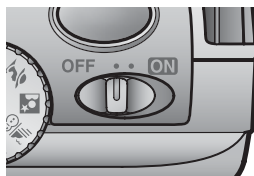
COOLPIX2000は液晶モニタの中央部分で被写体にピントを合わせます。構図を決めるときは、写したい被写体が中央付近に配置されるようにしてください。

### 画像記録中の撮影

（画像記録中表示）が表示されている場合、および動画モード（ 28）または連写モード（ 63）で ⌛ が表示されている場合は、画像をコンパクトフラッシュカードに記録しています。このような場合、コンパクトフラッシュカードを取り出したり、電池を抜いたりしないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影した画像がこわれたりする場合があります。

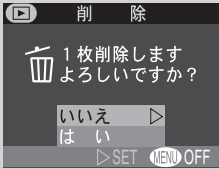
## ステップ５：撮影を終了します

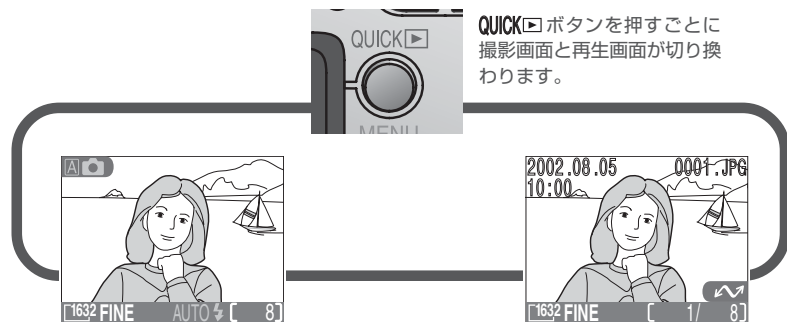
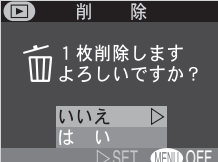
撮影を終了するときは、電源スイッチをOFFにします。

- 電源スイッチがONになっていると電池が消耗します。カメラを保管する前に、必ず電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

### 電源スイッチをOFFにした場合

電源スイッチをOFFにした後、スピードライトランプが点灯している場合があります。このような時には、スピードライトランプが消灯するのを待ってから電池を取り出してください。

# 撮影した画像を確認する

デジタルカメラは、撮影後すぐに画像を確認できるので、取り直したいと思ったときにいつでも次の撮影をすることができます。再生には、QUICK▶をボタンを押して「簡易再生モード」で行う方法とモードダイヤルを ▶ に合わせて「再生モード」で行う方法があります。

## 簡易再生モードで再生する場合

撮影後すぐに画像を確認するときは、「簡易再生モード」を使用します。このモードでは、モードダイヤルを ▶ モードに切り換えることなく、すぐに画像を確認できます。

- 撮影後、モードダイヤルを A📷 やシーンモードにセットしたままで、QUICK▶ボタンを押すと、最後に撮影した画像が液晶モニタ全体に表示されます（簡易再生モード）。
- 動画の再生はできません。
- 簡易再生モード時にシャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻り、いつでも撮影できます。

簡易再生モード時は次の操作が可能です。

| 目的 | ボタン | カメラの動作 |
| --- | --- | --- |
| 別の画像を見る | マルチセレクター | マルチセレクターの▲を押すと、現在液晶モニタに表示されている画像の1つ前に撮影した画像を見ることができます。<br>▼を押すと、現在表示されている画像の次に撮影した画像を見ることができます。 |
| サムネイル（縮小した）画像を見る | (W) | (W) ボタンを押すと、4コマの縮小した画像を表示する「サムネイルレビューモード」になります（25）。 |
| 表示されている画像を削除する | 🗑(⚡◉) | 🗑(⚡◉) ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択します。▶を押すと、選択が実行されます。<br>削　除 / 1枚削除します よろしいですか？ / いいえ ▷ / は　い / ▷SET MENU OFF<br>• **いいえ**：画像は削除されず簡易再生モードに戻ります。<br>• **はい**：画像が削除されます。 |
| 表示されている画像を拡大する | 🔍(T) | 🔍(T) ボタンを押すと、画像が最大約16倍まで拡大表示されます（51）。拡大画面表示でマルチセレクターを使うと、画面がスクロールするので、見たい部分に移動できます。QUICK▶ボタンを押すと、拡大表示がキャンセルされて撮影画面に戻ります。 |
| パソコンに転送する画像を選択する | 〜(▲❀) | 撮影された画像に〜マーク（75）をつけたり、消したりすることであらかじめパソコンに転送する画像を選択することができます。 |
| 画像情報を表示/非表示にする | マルチセレクター | マルチセレクターの◀を押すごとに、画像情報の表示/非表示を切り換えます（7）。 |
| 撮影モードに戻る | シャッターボタン/QUICK▶ | シャッターボタンを半押しする、またはQUICK▶ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。 |

## サムネイルレビューモード

簡易再生モード時に ▦ (W) ボタンを押すと、液晶モニタに4コマの縮小した画像（サムネイル画像）が表示される「サムネイルレビューモード」になります。操作は次の表の通りです。

| 機能 | ボタン | 内容 |
|---|---|---|
| 画像を選択する | マルチセレクター | ▲/▼/◀/▶を押して画像を選択します。 |
| 表示コマ数を変更する | ▦ (W) /🔍 (T) | サムネイル画像の4コマ表示時に▦ (W)ボタンを押すと、サムネイル画像の9コマ表示になります。9コマ表示時に🔍 (T)ボタンを押すと4コマ表示に、4コマ表示時に🔍 (T)ボタンを押すと１コマ表示（簡易再生モード）になります。 |
| 選択した画像を削除する | 🗑(⚡◉) | 🗑(⚡◉）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択し、▶を押すと、選択が実行されます。<br>[▶] 削　除<br>１枚削除します<br>よろしいですか？<br>いいえ ▷<br>は　い<br>▷SET MENU OFF<br>• **いいえ**：画像は削除されずサムネイルレビューモードに戻ります。<br>• **はい**：画像が削除されます。 |
| パソコンに転送する画像を選択する | ∿ (▲❀) | 撮影された画像に∿マーク（👁 75）をつけたり、消したりすることであらかじめパソコンに転送する画像を選択することができます。 |
| 撮影モードに戻る | シャッターボタン/QUICK▶ | シャッターボタンを半押しする、またはQUICK▶ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。 |

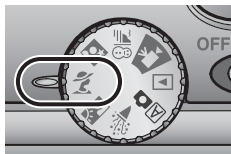
### 再生モード

画像を確認するには、簡易再生モード機能の他に、モードダイヤルを ▶ モードに切り換える方法があります（👁 48）。▶ モードでは、複数の画像の削除や、画像のプロテクト設定、転送マーキング設定などを行うことができます（👁 67）。

# シーンモード・動画モードで撮影する



COOLPIX2000には5種類のシーンモードと動画モードが用意されています。シーンモードでは、選択された「シーン」に合わせてカメラが各種設定を最適な状態にセットします。撮影状況や被写体に合ったシーンモードを選択するだけで、複雑な設定をしなくても思いどおりの撮影が簡単に楽しめます。また、動画モードでは20秒間の無声動画を撮影できます。

シーンモードと動画モードはモードダイヤルで選択します。

## シーンモード・動画モードについて

- 「海・雪」を除き、フォーカスモードは通常AFモードになります。「海・雪」はマクロモード、遠景モードも使用できます（40）。
- セルフタイマーはすべてのシーンモードで使用できます（41）。
- スピードライトモードに関する記述がないシーンモードでは、すべてのスピードライトモードが選択可能です（44）。
- シーンモードはMENUボタンを押すと、Aモードと同様のメニューが表示されます（57）。
- 手ブレを警告するが液晶モニタに表示されるシーンモードでは、被写体の明るさによってシャッタースピードが遅くなります。脇を締めてカメラを固定するようにしっかりと持つか、三脚などを使ってカメラを固定してください。

### パーティー

パーティー会場などで、キャンドルライトをきれいに写すなど被写体の背景を生かした雰囲気のある画像に仕上げます。

•スピードライトモード：AUTO（赤目軽減自動発光）に自動的にセット（44）。

## 逆光

逆光状態の時に、人物が影にならず美しく撮影することができます。

• スピードライトモード：⚡(強制発光）に自動的にセット。

## ポートレート

ポートレート撮影に使用します。背景をぼかし、人物を浮き立たせて立体感のある画像に仕上げます。

• 背景をぼかす度合いは、光の明るさで変化します。

## 夜景ポートレート

夕景や、夜景をバックに人物を撮影したいとき、背景を黒くつぶすことなく、人物も背景も自然に表現できます。

• スピードライトモード：◉AUTO⚡(赤目軽減自動発光)に自動的にセット(44)。

## 海・雪

晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影します。

### 動画

最大20秒の動画（音声なし）を撮影できます。シャッターボタンを深く押し込むと撮影が開始され、もう一度シャッターボタンを押し込むと撮影が終了します。

- 液晶モニタには、撮影可能コマ数表示のかわりに、記録可能な時間が表示されます。
- 動画の撮影は約20秒で自動的に終了します。また、コンパクトフラッシュカードの記録容量がなくなった場合も自動的に終了します。
- 動画は画像サイズQVGA（320×240）、画質モードNORMALで15フレーム/秒で撮影されます。拡張子は「.MOV」の「Quick Timeムービーファイル」として記録されます。
- 動画モードが選択されているときは、メニューの設定はできません。
- 動画モードが選択されているときは、スピードライトは発光しません。
- 動画モードの撮影中は、ズーム操作はできません。

### ノイズ除去機能について

夜景ポートレート撮影など、シャッタースピードが長時間になる撮影を行った場合、記録された画像に星状のノイズが生じることがあります。シーンモードの夜景ポートレートで、ノイズが発生するような遅いシャッタースピードになる撮影では、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、撮影後の画像の記録に通常より2倍以上の時間がかかります。

### 思いどおりの画像にならない場合は

撮影状況によっては、選択したシーンモードでは期待通りの結果にならない場合がありえます。このような場合は、モードダイヤルを A にセットして再度撮影することをおすすめします。

# 撮影した画像の楽しみかた

デジタルカメラでコンパクトフラッシュカードに記録された画像はパソコンに転送して保存することができます。パソコンに転送した画像は、編集したり、プリントしたり、電子メールに添付するなど、さまざまな方法で楽しむことができます。

**撮影した画像をパソコンに転送する**
**(30～37)**

Nikon View 5を使って画像をパソコンに転送する方法を紹介します。

**撮影した画像をテレビで再生する**
**(38)**

ビデオケーブルでカメラとテレビを接続すると、撮影した画像をテレビで再生できます。

COOLPIX2000で撮影したデジタル画像はさまざまな方法でプリントできます。例えば、画像をコンパクトフラッシュカードやMOなどの記録メディアに記録してプリントショップに持っていき、プリントを注文することができます。また、Nikon View 5を使って画像をパソコンに転送すると、お手持ちのプリンタからもプリントできます。プリントする場合に、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）（74）に対応しているプリンタ、プリントサービスを使用すると、画像を記録したコンパクトフラッシュカードから直接プリントすることができます。

# 撮影した画像をパソコンに転送する



## 転送の前に：Nikon View 5のインストール

Nikon View 5はコンパクトフラッシュカードに記録されている画像をパソコンに転送し、画像の一覧表示や編集を可能にするアプリケーションです。

Nikon View 5は次のOSに対応しています。動作環境の詳細については「主な仕様」（96）をご覧ください。

| | |
|---|---|
| **Windows** | Windows XP Home Edition/Professional<br>Windows 2000 Professional、<br>Windows Millennium Edition（Me）、<br>Windows 98 Second Edition（SE）<br>※ すべてプリインストールモデルのみ対応 |
| **Macintosh** | Mac OS 9.0、9.1、9.2、<br>Mac OS X（10.1.2以降）<br>※ すべてUSBポート内蔵モデルのみ対応 |

Nikon View 5はカメラとパソコンを接続する前に、あらかじめパソコンにインストールしておく必要があります。インストールの方法については、クイックスタートガイド、またはNikon View 5インストールマニュアルをお読みください。インストールマニュアルは、付属のNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）に入っています。

**1 Nikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入します。**

パソコンを起動し、CD-ROMドライブにNikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMを挿入してください。

Windowsの場合：「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、その中のCD-ROMドライブ（Nikon）をダブルクリックすると、Nikonフォルダが開きます。

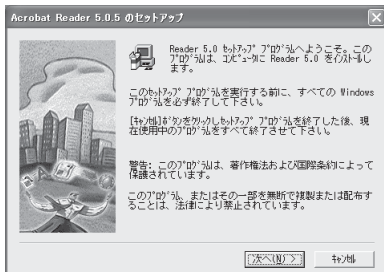
Macintoshの場合：Mac OS 9をご使用の場合、デスクトップにNikonフォルダが自動的に開きます。Mac OS Xをご使用の場合、デスクトップ上のCD-ROM（Nikon）をダブルクリックすると、Nikonフォルダが開きます。

## 2 Adobe Acrobat Readerをインストールします。

Nikon View 5インストールマニュアルはPDF形式で書かれています。マニュアルを読むにはAdobe Acrobat Reader 4.0以降が必要です。Adobe Acrobat Reader がすでにインストールされている場合は、ステップ3にお進みください。

Adobe Acrobat Readerをインストールするには、まずJapaneseのフォルダをダブルクリックして、次にインストーラアイコンをダブルクリックします。インストール開始画面が表示されますので、画面に表示される指示にしたがってインストールを完了してください。

インストーラアイコン (Windows)

インストーラアイコン (Macintosh)

インストール開始画面 (Windows)

インストール開始画面 (Macintosh)

## 3 Nikon View 5インストールマニュアルの指示にしたがって、Nikon View 5をインストールします。

Nikonフォルダ内のINDEX.pdfアイコンをダブルクリックして、Nikon View 5リファレンスマニュアルの見出し (INDEX)を表示させてください。ご使用のパソコン、システムに応じたインストールマニュアルを参照してNikon View 5のインストールを行います。インストールマニュアルはAcrobat Readerの［ファイル］メニューにある［プリント...］コマンドでプリントできます。

### すでに他のNikon Viewがインストールされている場合は

ご使用のパソコンに他のニコンデジタルカメラに付属するNikon Viewがすでにインストールされている場合は、COOLPIX2000に付属のNikon View 5にアップグレードする必要があります。詳しくはNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

## 画像をパソコンに転送する

Nikon View 5のインストールが完了すると画像や動画をパソコンに転送することができます。画像や動画はパソコンとカメラをUSBケーブルで接続して転送します。また、カメラからコンパクトフラッシュカードを取り出して、カードリーダー、またはPCカードスロットに挿入して転送することもできます。

### USBケーブルUC-E5で画像を転送する

1 画像が記録されているコンパクトフラッシュカードをカメラに入れて、モードダイヤルを▶にセットした後、カメラの電源スイッチをONにします。

- 液晶モニタには最後に撮影した画像が表示されます。

2 パソコンに転送したい画像を選択して、カメラの電源スイッチをOFFにします。

- ▦（W）を押すと、4コマまたは9コマの画像を一度に見ることができて便利です。
- パソコンに転送する画像に〜マークがついていることを確認してください。
- 転送したくない画像がある場合は、〜ボタンを押すとマークが消えます（もう一度押すとマークがつきます）。

#### カメラをパソコンに接続する前に

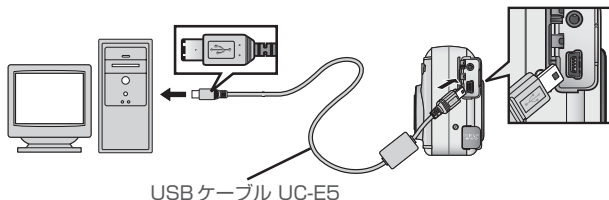
- カメラをパソコンに接続する前に、必ずNikon View 5をインストールしてください。
- Mac OS X 10.1.3以降を使用して、カメラの〜ボタンで画像を転送する場合は、セットアップメニューのUSB通信方式を**PTP**にセットしてください(👁80)。

#### Mac OS X 10.1.2をご使用の場合

Mac OS X 10.1.2をご使用の場合は、カメラの〜ボタンでは画像を転送できません。画像を転送する場合は、Nikon View 5の［〜］ボタンを使用してください。詳しくは付属のNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

## 3 パソコンを起動して、カメラとパソコンを専用USBケーブルUC-E5で接続します。

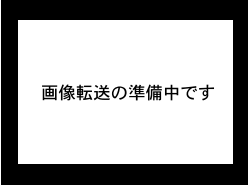
- カメラとパソコンを専用USBケーブルUC-E5で下図のように接続します。

USBケーブル UC-E5

## 4 カメラの電源スイッチをONにします。

- カメラの電源スイッチをONにしても、カメラの液晶モニタには何も表示されません。
- 電源スイッチと〜ボタンを除くすべてのボタンが使用できなくなります。
- パソコンが自動的にカメラを認識してパソコンのモニタ画面にNikon View 5（ニコントランスファ）を表示します。詳しくは付属のNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

### 1000コマ以上の画像を転送する場合のご注意

〜ボタンで転送できる画像数は最大で999コマです。1000コマ以上の画像を転送する場合は、Nikon View 5を使用してください。詳しくは付属のNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

### 使用する電源について

カメラからパソコンにデータを転送するときは、確実に電源を供給できるACアダプタEH-53（別売）を使用してください（84）。カメラを電池で操作するときは、電池の残量が十分であることをご確認ください（予備電池のご用意をおすすめします）。電池残量が少なくなったら、カメラの液晶モニタに「画像をパソコンに転送中です」と表示されていないことを確認してから、手順6（34）に従ってカメラの電源スイッチをOFFにした後、電池を交換してください。

### USBハブについて

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

## 5 ボタンを押します。

- カメラの液晶モニタに、「**画像転送の準備中です**」というメッセージが表示されます。
- 「**画像をPCに転送中です**」というメッセージが出ると、マーク付きの画像がカメラからパソコンに転送されます。
- カメラの液晶モニタに「**転送終了しました**」と表示されたら、転送は完了です。
- カメラからパソコンに画像を転送する時間は、パソコンの動作環境によって変化します。

▼

▼

転送終了しました

## 6 カメラとパソコンの接続を外します。

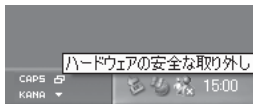
- カメラの液晶モニタに「**転送終了しました**」と表示されたら、必ず次の操作をしてからカメラの電源スイッチをOFFにして、USBケーブルを抜いてください。
- Windows XP Home Edition、Windows XP Professional、またはMac OS Xを使用して、セットアップメニューのUSB通信方式を**PTP**にセットしている場合（80）、カメラのスライドスイッチをOFFにして、USBケーブルを抜いてください。

### 画像転送中のご注意

カメラの液晶モニタに「**画像をPCに転送中です**」と表示されている間は、次の操作は行わないでください。
カメラおよびパソコンが作動しなくなる場合があります。

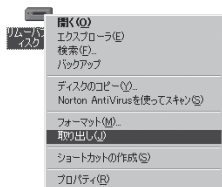
- USBケーブルを抜く
- カメラの電源スイッチをOFFにする
- コンパクトフラッシュカードを抜く

USB通信方式を**Mass Storage**（初期設定）のまま変更していない場合は、必ず次の操作をしてからカメラのスライドスイッチをOFFにして、USBケーブルを抜いてください。

- Windows XP Home Edition/Professionalの場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を安全に取り外します」を選択してください。

- Windows 2000 Professionalの場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を停止します」を選択してください。

＊「ドライブ(E:)」はご使用のパソコンによって異なります。

- Windows Millennium Edition（Me）の場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして「USBディスク－ドライブ（E:）の停止」を選択してください。

- Windows 98 Second Edition（SE）の場合：
  マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。

- Mac OS Xの場合：
  デスクトップ上の「NO_NAME」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。
- Mac OS 9の場合：
  デスクトップ上の「名称未設定」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

Mac OS X　　Mac OS 9

## カードリーダー、またはPCカードスロットから画像を転送する

コンパクトフラッシュカードリーダーをお持ちの場合、またはパソコンにPCカードスロットが装備されている場合には、コンパクトフラッシュカードをカメラから取り出してパソコンに画像を転送することができます。

### コンパクトフラッシュカードリーダーをご使用の場合

カードリーダーへの挿入方法は、ご使用のパソコン本体、カードリーダーの使用説明書をご参照ください。

1 パソコンを起動します。
カードリーダーが外付けタイプの場合は、パソコンを起動する前にカードリーダーを接続しておいてください。

2 カードリーダーにコンパクトフラッシュカードを挿入します。
Nikon View 5が自動的にカードを認識して起動します。画像をパソコンに転送する方法については、付属のNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご参照ください。

### PCカードスロットをご使用の場合

1 コンパクトフラッシュカードをPCカードアダプタEC-AD1（別売）に挿入します。

EC-AD1

2 パソコンを起動します。

3 PCカードスロットにPCカードアダプタを挿入します。
Nikon View 5が自動的にカードを認識して起動します。画像をパソコンに転送する方法については、付属のNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご参照ください。

#### PCカードスロットについて

ノート型パソコンなどの「PCMCIA（Personal Computer Memory Card International Association）」に適合するPCカードスロットを使用する場合、カメラから取り出したコンパクトフラッシュカードを読み込むために、PCカードアダプタEC-AD1（別売）が必要です。

## コンパクトフラッシュカードを取り出す場合の注意点

カードリーダーやPCカードスロットからコンパクトフラッシュカードを取り出すときは、画像の転送が完了していることを確認してください。

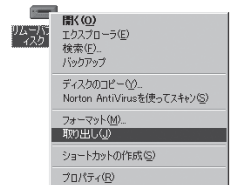
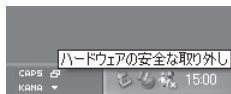
パソコン画面に転送中を示すインジケータが表示されている場合は、コンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。

またカードリーダーやPCカードスロットからコンパクトフラッシュカードを取り出す前に、次の操作を行ってください。

- Windows XP Home Edition/Professionalの場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして、コンパクトフラッシュカードを取り出してください。

- Windows 2000 Professionalの場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして、コンパクトフラッシュカードを取り出してください。

- Windows Millennium Edition（Me）の場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして、コンパクトフラッシュカードを取り出してください。

- Windows 98 Second Edition（SE）の場合：
  マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。

- Mac OS Xの場合：
  デスクトップ上の「NO_NAME」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

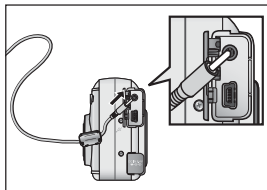
- Mac OS 9の場合：
  デスクトップ上の「名称未設定」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

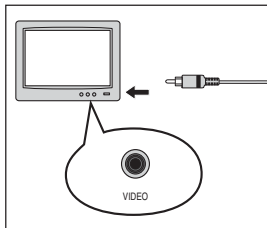
# 撮影した画像をテレビで再生する

付属のビデオケーブルを使用すると撮影した画像をテレビやビデオでも再生できます。

## 1 カメラの電源スイッチをOFFにします。

## 2 ビデオケーブルをカメラに接続します。

ビデオケーブルの黄色いピンジャックをカメラのビデオ出力端子に接続します。

## 3 ビデオケーブルをテレビまたはビデオに接続します。

ビデオケーブルの黄色のプラグをテレビまたはビデオの映像入力端子に接続します。

## 4 テレビの入力をビデオ入力に切り換えます。

## 5 カメラの電源スイッチをONにします。

テレビには、撮影した画像が表示されます。

### ACアダプタの使用をおすすめします

カメラを長時間ご使用になる場合は、別売のACアダプタEH-53の使用をおすすめします。

### ビデオモードの選択

ビデオモードはセットアップメニューの**ビデオモード**で選択します(79)。ビデオの出力形式にはNTSC(日本国内)またはPAL(欧州)があります。カメラを接続するテレビ、ビデオなどの形式と選択したビデオ出力形式が必ず一致するようにしてください。

# いろいろな撮影機能

この章ではフォーカスモード、セルフタイマー、ズーム、スピードライトモードの設定など、カメラの各撮影機能について詳しく説明します。

## フォーカスモード

フォーカスモードには、通常AFモード以外にマクロモード、遠景モードがあります。

▲✿ボタンを押して選択します。▲✿ボタンを押すと、液晶モニタの下の部分に表示されるフォーカスモードが次のように切り換わります。

1632 FINE AUTO ⚡ [ 8]

通常AFモード

1632 FINE ✿ AUTO ⚡ [ 8]

マクロモード

1632 FINE ▲ AUTO ⚡ [ 8]

遠景モード

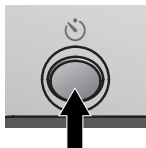
| モード設定 | 機能 | 使用場面 |
|---|---|---|
| (アイコンなし)<br>通常AFモード | 被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。 | 手軽に撮影できるカメラまかせのモードです。スナップ写真やポートレートなど、ほとんどの撮影に幅広く対応します。レンズから30cm以上の被写体を撮影するときに使用します。 |
| ✿<br>マクロモード | レンズから4cm以上の被写体にピントを合わせます。 | 花や昆虫など小さな被写体を近接撮影するときに使用します。マクロモードでは常時ピントを合わせるコンティニュアスAFになります。 |
| ▲<br>遠景モード | 遠くの被写体にピントを合わせます。スピードライトは自動的に発光禁止になります。 | 窓越しの風景や建物など、遠くにある被写体を撮影するときに使用します(AF表示は表示されません)。 |

## セルフタイマー機能について

セルフタイマーを使用すると、シャッターボタンを押してから10秒、または3秒後に撮影します。記念写真などで撮影者自身が写りたい時や、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防ぎたい時などに便利です。動画撮影では使用できません。

### セルフタイマーの使用方法

1 カメラを固定します。
- 三脚などを使用し、カメラを安定させてください。

2 ⏲ボタンを押して、セルフタイマーモードを表示させます。
- ⏲ボタンを1度押すと10秒間、もう1度押すと3秒間タイマーが設定されます。

3 構図を決めます。
- ピントを合わせたい被写体が一番手前に配置される構図にしてください。

4 シャッターボタンを深く押し込んで、セルフタイマーを作動させます。
- 作動中のセルフタイマーを停止するには、もう一度⏲ボタンを押してください。
- カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる直前の約1秒間は点灯します。

シャッターボタンを下まで押し込みます。

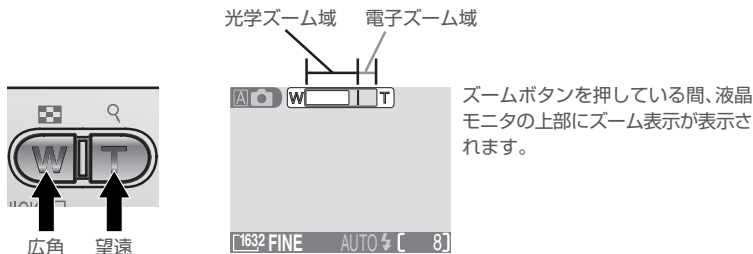
撮影までの秒数を示すカウントダウン表示が液晶モニタに表示されます。

シャッターボタンを押すと同時に、カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅し、タイマーが作動します。

## ズーム機能について

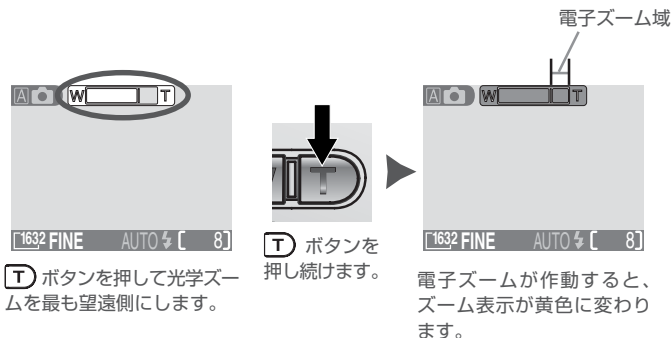
COOLPIX2000は、光学ズーム（3倍）と電子ズーム（2.5倍）を装備しています。ズームボタンで、被写体の大きさを変えることができます。

### 光学ズーム

光学ズームは、カメラのズームレンズを使用して、被写体を３倍まで拡大します。

ズームボタンを押している間、液晶モニタの上部にズーム表示が表示されます。

- W ボタンを押すと、広角側にズーミングします。液晶モニタの画像（被写体）が縮小されます。
- T ボタンを押すと、望遠側にズーミングします。液晶モニタの画像（被写体）が拡大されます。

## 電子ズーム

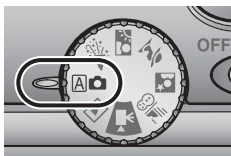
光学ズームを最も望遠側にして、Tボタンを押し続けると、自動的に電子ズームが作動します。

- 電子ズームは、被写体を光学ズームの最大倍率（3倍）の約2.5倍まで拡大することができます。
- 電子ズームをキャンセルするには、ズーム表示が白色に戻るまでWボタンを押し続けてください。
- 電子ズームを使って撮影する場合、常に画面中央の被写体にピントが合います。
- 電子ズームは、動画モードおよび、「連写」、「マルチ連写」、「BSS」設定時には使用できません。

### 電子ズームについて

電子ズームは、カメラがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームとは違い、画像の中央部分を単に画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。

## スピードライトモード

モードダイヤルを A、ポートレート 、または海/雪 にセットしているときは、撮影目的や撮影意図に合わせて5種類のスピードライトモードを選択できます。

スピードライトモードは ボタンを押して選択します。

モードダイヤルを A、ポートレート 、または海/雪 にセットして、 ボタンを押すと、スピードライトモードが切り換わります。

| モード設定 | 機能 | 使用場面 |
|---|---|---|
| AUTO 自動発光 | 被写体が暗い場合にスピードライトが自動的に発光します。 | •一般的なスピードライト撮影をする場合に使用します。 |
| 発光禁止 | スピードライトの発光を禁止します。 | •暗い場所で自然光をとらえたい場合、またはスピードライトの使用が禁止される場所で撮影するときに設定します。<br>•手ブレ警告表示（ ）が表示される場合は手ブレに注意してください。 |
| AUTO 赤目軽減自動発光 | スピードライトが発光する前にあらかじめ小発光させて、人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。 | •ポートレート撮影に使用します（撮影の際、スピードライトが小発光するのを被写体の人物にしっかり見てもらうと効果が上がります）。<br>•シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません。 |
| 強制発光 | 被写体の明るさに関係なく、必ずスピードライトが発光します。 | •昼間の屋外撮影での顔に影がかかる場合などに使用します。 |
| スローシンクロ | シャッタースピードを遅くして、スピードライトを発光します。 | •夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、遠くの背景も近くの人物もきれいに写したい場合に使用します。<br>•手ブレ警告表示が表示される場合は手ブレに注意してください。 |

## シーンモード時のスピードライトモード

シーンモードを選択しているときはスピードライトモードが自動的に選択される場合があります。詳しくはシーンモード（26）ページをご覧ください。

## スピードライト使用上の注意

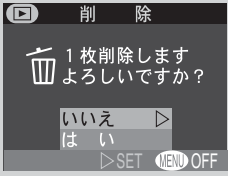
スピードライトを使用するときは、指や髪の毛などでスピードライトや調光センサーの前をさえぎらないように注意してください。指や髪の毛などでスピードライトがさえぎられていると、画像が暗くなったり、大きな影が写り込んだりする場合があります。

## スピードライトランプが点滅しているときは

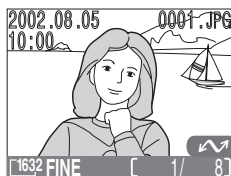
スピードライト充電中にシャッターボタンを半押しすると、スピードライトランプが点滅します。このような場合は、シャッターボタンからいったん指を離し、しばらくしてからシャッターボタンを押し直してください。

## 暗い場所で撮影するときのご注意

スピードライトモードを発光禁止（）にセットして暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなって画像がブレる場合があります。この場合、液晶モニタに手ブレ警告マーク（）が表示されますので、三脚などを使用し、カメラを安定させて撮影してください。なお、このような状況で撮影された画像にはノイズが発生する場合があります。

# 画像の再生

COOLPIX2000で再生する画像は、マルチセレクターやボタンを使っていろいろな方法で表現できます。この章では、画像をサムネイル表示にしたり、拡大して表示する方法、スモールピクチャを作成する方法、および動画の再生方法について説明します。

## 1コマ再生モード

モードダイヤルを ▶ に合わせると1コマ再生モードになり、液晶モニタには撮影された画像が表示されます。

1コマ再生モード時は次の操作が可能です。

| 機能 | ボタン | 内容 |
|---|---|---|
| 別の画像を見る | (マルチセレクター) | マルチセレクターの▲を押すと、現在液晶モニタに表示されている画像の1つ前に撮影した画像を見ることができます。<br>▼を押すと、現在表示されている画像の次に撮影した画像を見ることができます。 |
| サムネイル（縮小した）画像を見る | ▦（W） | ▦（W）ボタンを押すと、4コマの縮小した画像が表示される「サムネイルモード」になります（ 50）。 |
| 表示されている画像を削除する | 🗑（⚡◉） | 🗑（⚡◉）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択し、▶を押すと、選択が実行されます。<br>[画面表示：▶ 削　除／1枚削除します よろしいですか？／いいえ ▷／は　い／▷SET MENU OFF]<br>• **いいえ**：画像は削除されず1コマ再生モードに戻ります。<br>• **はい**：画像が削除されます。 |

| 機能 | ボタン | 内容 |
|---|---|---|
| 表示されている画像を拡大する | Q (T) | Q (T) ボタンを押すと、画像が最大約16倍まで拡大表示されます（51）。拡大画面表示でマルチセレクターを使うと、見たい部分に移動できます。(W) ボタンを押すと、拡大した画像を縮小できます。QUICKボタンを押すと、拡大表示がキャンセルされて1コマ再生モードに戻ります。 |
| パソコンに転送する画像を選択する | ( ) | 撮影された画像にマーク（75）をつけたり、消したりすることであらかじめパソコンに転送する画像を選択することができます。 |
| スモールピクチャーを作成する | SMALL PIC. | SMALL PIC. を押すと、表示している画像のサイズを320×240に縮小した画像を、元の画像とは別に作成します（52）。 |
| 動画を再生する | | 動画の再生と一時停止を行います（54）。 |
| 画像情報を表示/非表示にする | | ◀を押すごとに、画像情報の表示/非表示を切り換えます（7）。 |
| 再生メニューまたはセットアップメニューを表示する | MENU | MENUボタンを押すと、再生メニューまたはセットアップメニューを選択する画面が表示されます（55）。 |

## ファイル名とフォルダ名

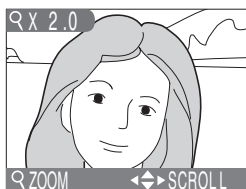
COOLPIX2000で撮影した画像は、DSCN0001～DSCN9999という名前で記録されます（スモールピクチャーの場合はSSCN0001～SSCN9999）。このファイル名はカメラが自動的に作成するもので、4桁の番号は撮影順に連番でつけられます。各ファイル名の最後には、静止画の場合は.JPG、動画の場合には.MOVという画像のタイプを示す拡張子がつきます。また、ファイルを保存するフォルダもカメラが自動的に作成し、フォルダ名には3桁のフォルダ番号がつけられます。ファイル名の連番を0001にリセットするときは、コンパクトフラッシュカードをフォーマット（78）してください。

## サムネイルモード

1コマ再生モード時に ▦(W) ボタンを押すと、液晶モニタに4コマの縮小した画像（サムネイル画像）が表示される「サムネイルモード」になります。操作は次の表の通りです。

| 機能 | ボタン | 内容 |
|---|---|---|
| 画像を選択する | マルチセレクター | ▲/▼/◀/▶を押して画像を選択します。 |
| 表示コマ数を変更する | ▦ (W) /Q (T) | サムネイル画像の4コマ表示時に▦ (W)ボタンを押すと、サムネイル画像の9コマ表示になります。9コマ表示時に Q (T) ボタンを押すと4コマ表示に、4コマ表示時に Q (T)ボタンを押すと1コマ表示（通常の表示）になります。 |
| 選択した画像を削除する | 🗑(⚡👁) | 削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲/▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択し、▶を押すと、選択が実行されます。<br>▶ 削　除<br>1枚削除します<br>よろしいですか？<br>いいえ ▷<br>は　い<br>▷SET MENU OFF<br>• **いいえ**：画像は削除されずサムネイルモードに戻ります。<br>• **はい**：画像が削除されます。 |
| パソコンに転送する画像を選択する | ∿ (▲✿) | 撮影された画像に∿マーク（👁 75）をつけたり、消したりすることであらかじめパソコンに転送する画像を選択することができます。 |

## 拡大表示モード

簡易再生モードおよび1コマ再生モード時に🔍(T)ボタンを押すと、表示された画像を拡大表示できます（拡大表示は動画およびスモールピクチャーの画像では使用できません）。

| 機能 | ボタン | 内容 |
|---|---|---|
| 画像を拡大表示する | 🔍(T) | 押すごとに画像を拡大表示します。最大約16倍まで拡大されます。拡大表示中は🔍アイコンと拡大倍率が液晶モニタの左上に表示されます。(W)ボタンを押すと、拡大した画像を縮小できます。 |
| 画像の他の部分を表示する | | ▲/▼/◀/▶を押すと、画像をスクロールさせて、見たい部分に移動することができます。 |
| 拡大表示をキャンセルする | QUICK▶ | 拡大表示時にQUICK▶ボタンを押すと、拡大表示をキャンセルして1コマ再生モードに戻ります。 |

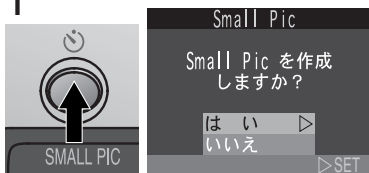
### 画像再生について

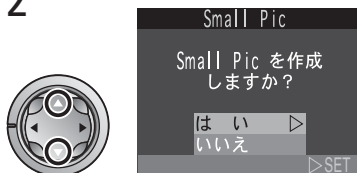
- マルチセレクターの▲または▼を押し続けると、表示される画像は変わらずに、液晶モニタの右下に表示される画像のコマ番号が増減します。表示したいコマ番号が表示されたらマルチセレクターから指を離すと、表示したい画像が表示されます。
- 最後の画像が表示されているときにマルチセレクターの▼を押すと、最初の画像が表示されます。最初の画像が表示されているときに▲を押すと、最後の画像が表示されます。

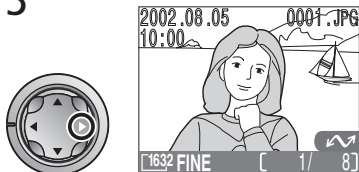
## スモールピクチャーの作成

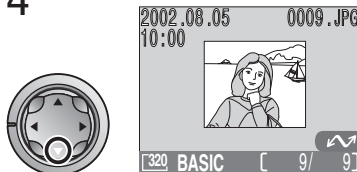
画像の1コマ再生時に**SMALL PIC/**ボタンを押すと、元の画像とは別に表示している画像の画像サイズを320×240に縮小したスモールピクチャー（縮小画像）を作成します。ファイルサイズが小さいので電子メールで送ったりホームページで使用する場合に適しています。

スモールピクチャーの作成は、1コマ再生モードで行います。

1

スモールピクチャーを作成する画像を表示して**SMALL PIC/**ボタンを押します。
- 確認画面が表示されます。

2

「はい」を選択します。
- スモールピクチャーの作成を中止する場合は「いいえ」を選択してマルチセレクターの▶を押します。

3

▶を押します。
- スモールピクチャーが作成されて、元の画像が表示されます。

4

▼を押して、作成したスモールピクチャーを確認します。
- 作成されたスモールピクチャーは、最後に記録された画像の後に表示されます。
- スモールピクチャーは、サムネイルモードでも枠つきで表示されます。
- スモールピクチャーの撮影日時は、元の画像と同じです。

スモールピクチャーは元画像とは別の画像として記録されます。

- スモールピクチャーの画質モードは、元画像の画質モードにかかわらずBASICになります。
- スモールピクチャーのファイル名は、先頭文字「SSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に1を加えた番号）を付けた名前（拡張子は.JPG）となります。例：SSCN0015.JPG
- 元画像を削除してもスモールピクチャーは削除されません。またスモールピクチャーを削除しても元画像は削除されません。
- 元画像のプリント指定やプロテクト設定はスモールピクチャーには反映されません。またスモールピクチャーのプリント指定やプロテクト設定は元画像には反映されません。個別に設定してください。
- スモールピクチャーの拡大表示はできません。

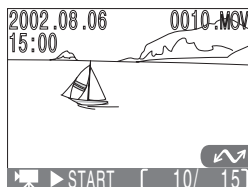
### スモールピクチャーが作成できない場合

- 簡易再生モード（23）ではスモールピクチャーを作成できません。
- スモールピクチャーからさらにスモールピクチャーを作成することはできません。
- 動画のスモールピクチャーは作成できません。
- COOLPIX2000以外のデジタルカメラで撮影された画像に対しては、スモールピクチャー機能の動作は保証しておりません。

### スモールピクチャーを他のカメラで見る場合

COOLPIX2000で作成されたスモールピクチャーをCOOLPIX2000以外のデジタルカメラで再生すると、正常に表示できない場合やパソコンへの転送ができない場合があります。

## 動画再生

1コマ再生モードでは、撮影された動画を液晶モニタで再生することができます。液晶モニタには動画であることを示すアイコン 🎥 が表示されます。動画再生は次のようにマルチセレクターで操作します。

| 機能 | ボタン | 内容 |
|---|---|---|
| 再生を開始する | ▶ | データを読み込んでいる間、⌛ が表示され、読み込みが終了すると動画の再生が始まります。再生が終了すると、最初のフレームが表示されます。 |
| 再生中に一時停止/再開する | ▶ | 動画の再生中に▶を押すと、動画が一時停止します。再度▶を押すと、再開します。 |
| 一時停止中に早送りする | ▲ | 動画を一時停止している間に▲を押し続けている間、早送りで再生します。 |
| 一時停止中に巻き戻す | ▼ | 動画を一時停止している間に▼を押すと、巻き戻しながら再生します。最後のフレームが表示されて一時停止している場合は再生が終了し、最初のフレームに戻ります。 |

MENUボタンを押すと液晶モニタにメニュー画面が表示され、カメラの設定内容を変更できます。この章では撮影メニュー、再生メニュー、およびセットアップメニューについて詳しく説明します。

**撮影メニュー（56～66）**
モードダイヤルを A、シーンモードにセットした場合のメニューについて説明します。

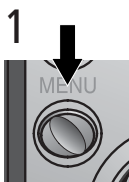
**再生メニュー（67～75）**
モードダイヤルを再生モードにセットした場合のメニューについて説明します。

**セットアップメニュー（76～81）**
基本的なカメラ設定の変更や、コンパクトフラッシュカードのフォーマットなどを行うセットアップメニューについて説明します。

# 撮影メニュー

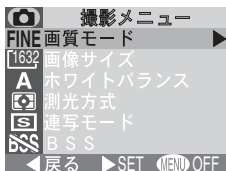
ここでは、A🔴、シーンモードで使用する撮影メニュー項目について紹介します。モードダイヤルをA🔴、シーンモードにセットしてMENUボタンを押すと、撮影の際に使用するメニューが表示されます（動画モードではメニューは表示されません）。

## 撮影メニュー画面の操作方法（A🔴の場合）

1

カメラの電源スイッチをONにしてMENUボタンを押すと、撮影メニューまたはセットアップメニューを選択する画面が表示されます。

2

マルチセレクターの▲または▼を押して撮影メニューを選択し、▶を押します。

3

撮影メニュー画面が表示されます。▲または▼で、セットしたいメニュー項目を選択します。

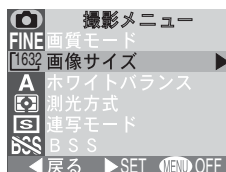
4

▶を押すと、選択したメニュー項目の詳細の画面に切り換わります。

5

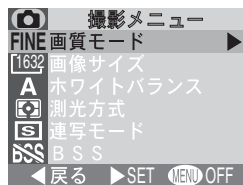
▲または▼でセットしたいメニューを選択します。

- 1つ前のステップに戻るには、マルチセレクターの◀方向を押します。

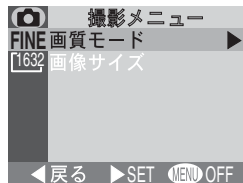
6

▶を押すと、選択したメニューが設定されます。

- メニュー画面を終了するにはMENUボタンを押します。

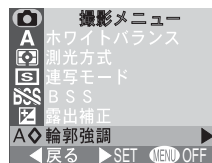
Aでの撮影メニューには次の項目があります。

| メニュー項目 | 👁 |
|---|---|
| **画質モード** | 58～59 |
| **画像サイズ** | 58～59 |
| **ホワイトバランス** | 60～61 |
| **測光方式** | 62 |
| **連写モード** | 63 |
| **BSS** | 64 |
| **露出補正** | 65 |
| **輪郭強調** | 66 |

A モードの撮影メニュー

シーンモードでの撮影メニューには次の項目があります。

| メニュー項目 | 👁 |
|---|---|
| **画質モード** | 58～59 |
| **画像サイズ** | 58～59 |

シーンモードの撮影メニュー

## メニュー項目のスクロール

メニュー項目はマルチセレクターの▲または▼でスクロールできます。

## メニュー画面の終了

メニュー画面を終了して撮影モードに戻るには、MENU ボタンを押します。

## メニュー画面表示時の撮影

メニュー画面は撮影画面上に表示されます。メニュー画面表示時にシャッターボタンを半押しすると撮影画面に切り換わり、いつでも撮影できます。

## 画質モードと画像サイズ

コンパクトフラッシュカードに記録される画像ファイルの大きさは、画質モードと画像サイズで決定します。そのため、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像の数は、画質モードと画像サイズの組み合わせによって変わります。8MB、16MBのコンパクトフラッシュカードに記録できる画像コマ数の目安は次の通りです（JPEG圧縮の性質上、撮影コマ数は画像の絵柄によって大きく異なります）。

| | 8MBコンパクトフラッシュカード | | | 16MBコンパクトフラッシュカード | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1632 | 1024 | 640 | 1632 | 1024 | 640 |
| FINE | 8 | 16 | 39 | 16 | 32 | 80 |
| NORMAL | 16 | 31 | 72 | 33 | 64 | 146 |
| BASIC | 32 | 62 | 121 | 65 | 127 | 247 |

### 画質モード

画像を記録する際に、処理を施して画像ファイルの容量を小さくすることを圧縮といいます。
COOLPIX2000は画像をJPEG形式で圧縮して記録します。画像の圧縮率を高くすると、画像ファイルが小さくなり、コンパクトフラッシュカード内の空き容量が増えます。ただし、圧縮してファイルを小さくすると、画質が低下し、画像中の細かい部分の再現性は低下していきます。

用途に応じて、3種類の画質モードを変更することができます。

| 設定 | 圧縮率 | 内容 |
|---|---|---|
| **FINE** | 約1/4 | 画像を拡大する場合や、細かい模様をプリンタで表現したい場合に適しています。 |
| **NORMAL** | 約1/8 | 通常の記念撮影などの画像をコンピュータの画面に表示したり、プリントする場合に適しています。 |
| **BASIC** | 約1/16 | 電子メールで送る画像やホームページ用の画像に適しています。 |

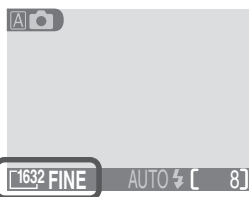
## 画像サイズ

3種類の画像サイズ(単位:ピクセル)を選択できます。画像サイズを小さくすると画像ファイルが小さくなり、電子メールで送る場合やホームページ用の画像として適しています。ただし、小さい画像サイズで大きくプリントしようとすると、粒子が粗い画像になります。コンパクトフラッシュカードの容量や撮影の状況に応じて画像サイズを選択してください。

| 設定 | サイズ(ピクセル) | プリント時のサイズ* |
|---|---|---|
| **1632** | 1,632 × 1,224 | 約13 × 10 cm |
| **1024** | 1,024 × 768 | 約9 × 7 cm |
| **640** | 640 × 480 | 約5 × 4 cm |

* 画像解像度300dpiでプリントする場合

### 画質モード表示と画像サイズ表示について

設定した画質モードと画像サイズは、右図のように液晶モニタに表示されます。

### プリントのサイズ

同じ画像サイズでも、プリント時の解像度が高いほどプリントのサイズは小さくなります。

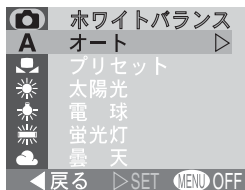
# ホワイトバランス

## ホワイトバランスについて

人間の目は、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく、白い被写体は白く見えます。それに対して、デジタルカメラでは、人間の目で白く見える色を画像でも白く見えるようにするには、照明光の色に合わせて調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランス」を合わせると言います。

## ホワイトバランスの設定

「ホワイトバランス」は、Aモード時の撮影メニューで設定することができます（シーンモード時は、照明光の状況に応じてホワイトバランスが自動的に設定されます）。

- ほとんどの場合はオート（**A**）で撮影できますが、意図通りのホワイトバランスにならない場合や、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合には他のホワイトバランスにセットしてください。

| 設定 | 内容 |
|---|---|
| **A オート** | 照明の状態に合わせて、ホワイトバランスを自動的に調整します。ほとんどの場面で使用できます。 |
| **プリセット** | 撮影者が白い被写体を基準にホワイトバランスを調整することができます（61）。 |
| **太陽光** | 太陽光の下で撮影するときに使用します。 |
| **電球** | 白熱電球を灯している室内で撮影するときに使用します。 |
| **蛍光灯** | 蛍光灯を灯している室内で撮影するときに使用します。 |
| **曇天** | 曇り空の下で撮影するときに使用します。 |
| **スピードライト** | スピードライトを発光させて撮影をするときに使用します。 |

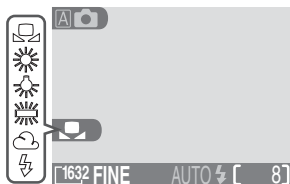
## プリセットホワイトバランスについて

プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを調整する場合に使用します(赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など)。「ホワイトバランス」メニューから (プリセット) を選択すると、液晶モニタに右のようなプリセットホワイトバランス設定画面が表示されます。

ホワイトバランス測定窓

| 設定 | 内容 |
|---|---|
| **現在の設定** | 前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。 |
| **新規設定** | 新規にホワイトバランス値を測定するときに設定します。撮影に使用する照明下で紙などの白い被写体をホワイトバランス測定窓に映して、「新規設定」を選択して、マルチセレクターの▶を押すと、新規にプリセットホワイトバランス値を測定します。プリセット中にはシャッターが切れる音がしますが、画像は記録されません。 |

### ホワイトバランス表示について

ホワイトバランスをオート（**A**）以外に設定すると、設定したホワイトバランス表示が液晶モニタに表示されます。

## 測光方式

測光方式をマルチ、スポット、中央重点から選択します。

| 設定 | 内容 | こんな場合に使用します |
| --- | --- | --- |
| マルチ | CCDの撮像領域を60分割して測光し、最適な露出値を決定します。さまざまな撮影状況で適性な露出が得られます。 | さまざまな撮影状況に対応します。通常の撮影では、マルチ測光をおすすめします。 |
| スポット | 撮影画面の中央部、全体の約1/60の領域に100%のウェイトを置いて測光し、露出値を決定します。 | 被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使用します。 |
| 中央重点 | 撮影画面の中央部、全体の約1/15の領域を測光して露出値を決定します。測光範囲は撮影時に液晶モニタ中央部に表示されます。 | ポートレート撮影など重点的に画像中央部に露出を合わせたいときなどに使用します。 |

### 測光方式表示

「スポット」、または「中央重点」に設定すると、測光方式表示が液晶モニタに表示されます。

## 連写モード

連写方式を単写、連写、マルチ連写から選択します。

| 設定 | 内容 |
|---|---|
| S **単写** | シャッターボタンを押し込むごとに、1コマ撮影します。そのままシャッターボタンを押し続けても、連続撮影はできません。 |
| **連写** | シャッターボタンを押し続けている間、連続して撮影を行います。 |
| **マルチ連写** | シャッターボタンを押し込むと、連続して16コマの撮影を行います。16コマの画像は4×4コマに並べられて、1つの画像として保存されます。 |

### 「連写」、「マルチ連写」に設定したときのご注意

- 「連写」、または「マルチ連写」に設定した場合には、スピードライトは自動的に発光禁止になります。
- オートフォーカス、露出、ホワイトバランスは1コマ目で決定されます。
- 「連写」、または「マルチ連写」時には、電子ズームは利用できません。

### 連写モード表示

「連写」、または「マルチ連写」に設定すると、連写モード表示が液晶モニタに表示されます。

## BSS

BSSは、ベストショットセレクタ（Best Shot Selector）のことで、最大10コマまでの画像を連続撮影し、カメラが自動的により鮮明な画像を1コマ選んでコンパクトフラッシュカードに記録する機能です。BSSをONにすると、次のような手ブレをしやすい撮影時に効果的です。

- カメラを望遠側にズーミングしている場合
- 照明が暗いときにスピードライトを使用できない場合（例えば、スピードライトが届かないところに被写体があったり、暗い照明で自然な光を撮影する場合など）

| 設定 | 内容 |
|---|---|
| **ON** | シャッターボタンを深く押し続けると、最大10コマまでの画像を連続撮影します。撮影された画像のうち、カメラが自動的により鮮明な画像を1コマ選び、コンパクトフラッシュカードに記録します。フォーカス、露出、ホワイトバランスは撮影する最初の画像で決定します。スピードライトは自動的に発光禁止になります。 |
| **OFF** | BSSをセットしません。 |

### BSSについてのご注意

- BSSを設定しても、動いている被写体を撮影したり、連続撮影中に構図を変えると、適切な結果が得られない場合があります。
- BSS時には電子ズームは利用できません。

### 「連写」、「マルチ連写」設定時のBSSについて

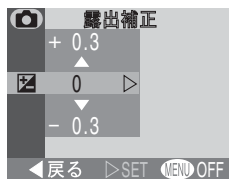
「連写」か「マルチ連写」に設定しているときは、BSSを使用できません。また、BSSをONに設定しているときに「連写」または「マルチ連写」を選択すると、BSSは自動的にOFFになります。

### BSS表示について

BSSがONに設定されていると、BSS表示が液晶モニタに表示されます。

1632 FINE 8

## 露出補正

被写体が非常に明るかったり、非常に暗かったりする場合や、被写体の明るさの差が著しく異なる場合、露出補正の数値を変えることで画像の明るさを調整できます。「露出補正」は、－2.0EVから＋2.0EVまでの範囲で、露出値を調整できます。

### 露出補正値の選択

- 構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合は、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。被写体が暗すぎるときは補正値を＋側にセットしてください。
- 構図の大部分が非常に暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）、背景が被写体よりも暗すぎる場合は、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。被写体が明るすぎるときは補正値を－側にセットしてください。

### 露出補正値表示

露出補正をセットすると、露出補正値が液晶モニタに表示されます。

## 輪郭強調

撮影シーンや好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。

| 設定 | 内容 |
|---|---|
| AUTO | カメラが、撮影した画像から最適な輪郭を自動的に調節します(調節は画像によって異なります)。 |
| 強 | 輪郭の強調を強めにセットします。個々の被写体の境目がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合などに使用します。 |
| 標準 | 撮影したすべての画像を標準的な輪郭に固定します。 |
| 弱 | 輪郭の強調を弱めにセットします。個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。 |
| OFF | 輪郭強調しません。 |

### 輪郭強調について

輪郭強調の効果は撮影時の液晶モニタでは確認できません。

### パソコンで加工する画像には

画像をパソコンで加工する場合は、輪郭強調を**標準**または**弱**に設定することをおすすめします。

### 輪郭強調表示について

輪郭強調をAUTO以外に設定すると、輪郭強調表示が液晶モニタに表示されます。

# 再生メニュー

ここでは、再生メニュー項目について紹介します。モードダイヤルを ▶ にセットしてMENU ボタンを押すと、再生メニューを選択する画面が表示されます。

## 再生メニュー画面の操作方法

1

カメラの電源スイッチをONにしてMENUボタンを押すと、再生メニューまたはセットアップメニューを選択する画面が表示されます。

2

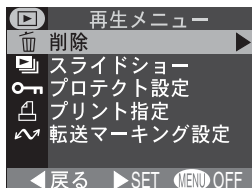
マルチセレクターの▲または▼で再生メニューを選択し、▶を押します。

3

再生メニュー画面が表示されます。▲または▼で、セットしたいメニュー項目を選択します。

4

▶を押すと、選択したメニュー項目の詳細の画面に切り換わります。

再生メニュー画面には次のメニュー項目があります。

| メニュー項目 | 👁 |
|---|---|
| **削除** | 68～69 |
| **スライドショー** | 70～71 |
| **プロテクト設定** | 72 |
| **プリント指定** | 73～74 |
| **転送マーキング設定** | 75 |

## 削除

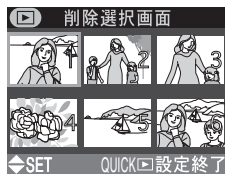
画像の削除方法を以下から選択できます。

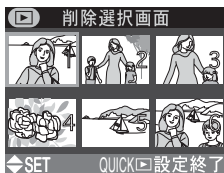
| 選択 | 内容 |
| --- | --- |
| **選択画像削除** | 選択した画像を削除します。 |
| **全画像削除** | すべての画像を削除します。 |

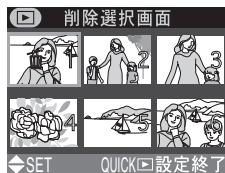
### 選択画像の削除

1

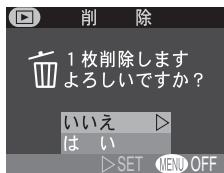
「選択画像削除」を選択します。

2

「削除選択画面」に切り換わり、画像がサムネイル表示されます。

3

マルチセレクターの◀または▶を押して、画像を選択します。

4

▲または▼を押して、削除する画像を設定します。

- 設定した画像には 🗑 が表示されます。手順の3と4を繰り返して、削除する画像を選んでください。
- 画像の選択を取り消すときは、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼を押して、🗑 の表示を消してください。

5

QUICK▶ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。▲または▼を押して「いいえ」か「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。

- **いいえ**：画像が削除されずに再生メニューに戻ります。
- **はい**：　選択した画像がすべて削除されます。

## 全画像の削除

コンパクトフラッシュカードに記録されているすべての画像を削除します。

1

「全画像削除」を選択します。

2

削除確認画面が表示されます。▲または▼を押して「いいえ」か「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。

- **いいえ**：画像が削除されずに再生メニューに戻ります。
- **はい**：　コンパクトフラッシュカード内のすべての画像が削除されます（プロテクト設定されている画像は削除されません）。

### 「選択画像削除」で選択できる画像枚数

「選択画像削除」で一度に選択できる画像は50枚までです。51枚目を選択すると、「画像を登録できません」というメッセージが表示された後、削除選択画面に戻ります。QUICK▶ボタンを押すと50枚の画像の削除確認画面が表示されます。

### 画像の削除について

- 削除した画像は元に戻すことはできませんのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- アイコンが表示されている画像はプロテクト（保護）設定されているので削除できません（72）。

## スライドショー

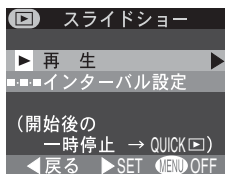
画像を自動再生します。コンパクトフラッシュカードに記録されている画像が一定間隔で再生されます。スライドショーには次のメニュー項目があります。

| 選択 | 内容 |
|---|---|
| **選択画像** | プリント指定した画像を指定順に再生します。 |
| **全画像** | コンパクトフラッシュカードに記録されている最初の画像から記録された順番で再生されます。 |

**選択画像**または**全画像**を選択すると、スライドショーの開始画面が表示されます。

### スライドショーの開始

1

「再生」を選択します。

2

マルチセレクターの▶を押すとスライドショーが始まります。

- 最終コマまで表示した後は、「一時停止」画面になります。
- 動画は、開始画面が静止画像として再生されます。

### スライドショーに選択できる画像コマ数

スライドショーに選択できる画像は最高 999 コマです。

スライドショーの再生中の動作は次の通りです。

| 機能 | ボタン | 内容 |
| --- | --- | --- |
| **スライドショーを一時停止します。** | QUICK▶ | スライドショーが一時停止し、右図のような画面が表示されます。スライドショーを再開するには、マルチセレクターで「再開」を選択してください。<br>一時停止<br>再開<br>インターバル設定<br>◀戻る ▶SET MENU OFF |
| **スライドショーを終了します。** | **MENU** | スライドショーを終了して再生画面に戻ります。 |

- 一巡すると上記画面で一時停止します。

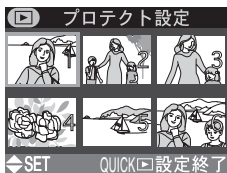
## インターバル設定

インターバル設定画面では、各コマの表示間隔（インターバル）を指定できます。

- マルチセレクターの▲または▼で表示間隔（2秒/3秒/5秒/10秒）を選択し、▶を押すとインターバルが設定されます。
- 設定される表示間隔は、各コマが完全に表示される時間です。画像サイズによっては、指定した時間どおりに表示されない場合もあります。

## プロテクト設定

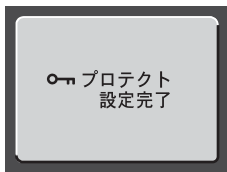
コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を誤って削除しないようにプロテクト（保護）をかけることができます。プロテクト設定をした画像は簡易再生モード、1コマ再生モード、サムネイルモードで削除ができなくなります。ただし、コンパクトフラッシュカードをフォーマットするとプロテクト設定された画像を含む全ての画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

1

マルチセレクターの ◀ または ▶ を押して、画像を選択します。

2

▲または▼を押して、プロテクト設定を行います。

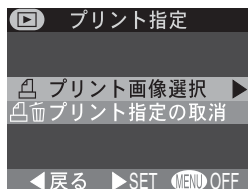
- プロテクト設定された画像には O━ アイコンが表示されます。
- 1と2の手順を繰り返し、プロテクトをかける画像すべてを選択します。
- プロテクトを解除する場合は、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼を押して O━ アイコンを消してください。

3

QUICK▶ ボタンを押すと操作完了です。画像のプロテクト状態を変更しないでプロテクト設定を終了する場合は、メニューボタンを押してください。

### 「プロテクト」で選択できる画像枚数

「プロテクト」で一度に選択できる画像は50枚までです。51枚目を選択すると、「画像を登録できません」というメッセージが表示された後、プロテクト設定画面に戻ります。QUICK▶ボタンを押すと50枚の画像のプロテクト設定が行われます。51枚以上の画像のプロテクト設定を行う場合は、再度再生メニューから「プロテクト設定」を選択して、上記の手順を繰り返し行ってください。

## プリント指定

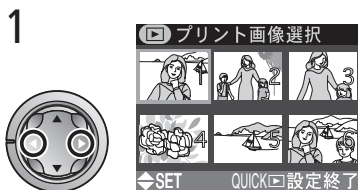
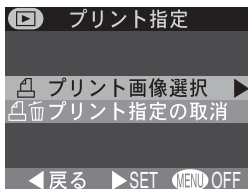
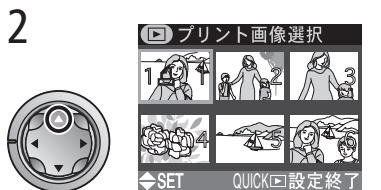
プリント画像の選択やプリント指定の取消を行います。

| 選択 | 内容 |
|---|---|
| **プリント画像選択** | プリント指定する画像を選択します。 |
| **プリント指定の取消** | すべてのプリント指定を取消します。 |

### プリント画像の選択

プリントしたい画像を選択し、プリント枚数を指定します。
選択された画像には、プリント時に撮影情報（シャッタースピード、絞り値）や撮影日を印字することができます。

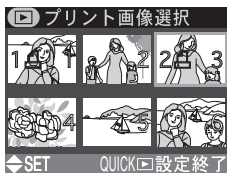
1

マルチセレクターの◀または▶を押して、画像を選択します。

2

▲を押して、プリント指定を設定します。設定された画像には アイコンが表示されます。

### 「プリント指定」で選択できる画像枚数

「プリント指定」で一度に選択できる画像は50枚までです。51枚目を選択すると、「画像を登録できません」というメッセージが表示された後、プリント画像選択画面に戻ります。QUICKボタンを押すと50枚の画像のプリント指定が行われます。51枚以上の画像のプリント指定を行う場合は、再度再生メニューから「プリント指定」を選択して、上記の手順を繰り返し行ってください。

3

マルチセレクターを使ってプリントする枚数を指定します。

- ▲を押すとプリント枚数は増加し（最高9枚）、▼を押すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が1のときに▼を押してください。
- 1～3の手順を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。
- プリント指定を変更せずに終了するときは、メニューボタンを押してください。

4

QUICK ボタンを押すと操作が完了し、プリント指定のメニューが表示されます。▲または▼を押して プリント時に印字する情報を選択してください。

- 選択したすべての画像のシャッタースピードと絞り値をプリントするときは、「撮影情報」を選択して▶を押します。「撮影情報」の前の□に✓が入ります。
- 選択したすべての画像の撮影日をプリントするときは、「日付」を選択して▶を押します。「日付」の前の□に✓が入ります。
- 選択した項目のチェックを外すときは、その項目を選んで▶を押してください。
- プリント指定を終了し、再生メニューに戻るときは、「設定終了」を選んで▶を押します。
- プリント指定を終了し、再生画面に戻る場合は、メニューボタンを押してください。

## スライドショー再生画像の選択

スライドショーで再生したい画像を選択します。スライドショーで**選択画像**を選択すると、プリント指定した画像が指定順に再生されます。詳しくは、「スライドショー」（70）をご覧ください。

### DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）

「プリント指定」で設定した情報は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）でコンパクトフラッシュカードに保存されます。従来の写真と同様に、デジタルプリントサービス取扱店に依頼するか、DPOF対応プリンタを使用すると、プリント指定した画像をコンパクトフラッシュカードから直接プリントすることができます（ニコンデジタルフォトプリンタNP-100は、画像情報、日付機能に対応していません）。

## 転送マーキング設定

撮影した全画像をパソコンに転送するか、または全画像を転送しないようにするかを設定します。

| 設定 | 内容 |
| --- | --- |
| **全ON** | 撮影した画像全てを転送設定します。 |
| **全OFF** | 撮影した全画像の転送設定を解除します。 |

### 転送マーキング設定についてのご注意

コンパクトフラッシュカードにすでに記録した画像に対して、すべての画像に転送設定をセットしたり、すべての画像の転送設定を解除することができます。ただし、1 枚のコンパクトフラッシュカードに転送設定できる画像は 999 コマまでです。

999 コマを超える画像を転送する場合は Nikon View 5 を使用すると、すべての画像を一括で転送できます。詳細は付属のNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

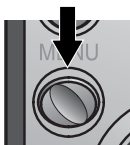
### COOLPIX2000以外のニコン製デジタルカメラで設定した転送設定

COOLPIX2000以外のニコン製デジタルカメラで転送設定したコンパクトフラッシュカードをCOOLPIX2000に挿入しても転送設定は認識されません。COOLPIX 2000 で再度転送設定してください。

# セットアップメニュー

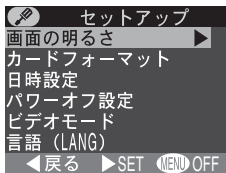
セットアップメニュー画面を表示するには、モードダイヤルを A📷、シーンモード、▶ のいずれかにセットします。動画モードでは表示できません。

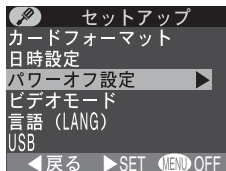
## セットアップメニュー画面の操作方法

1

カメラの電源スイッチをONにしてMENUボタンを押すと、撮影メニューまたはセットアップ（再生モードの場合は再生メニューまたはセットアップ）を選択する画面が表示されます。

2

マルチセレクターの▼でセットアップメニューを選択します。

3

▶を押して、セットアップメニューを表示させます。

4

▲または▼で、セットしたいメニュー項目を選択します。

5

▶を押すと、選択したメニュー項目の詳細の画面に切り換わります。

6

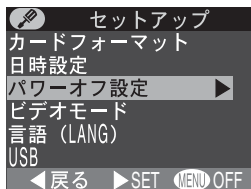
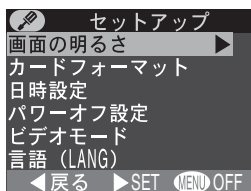
▲または▼でセットしたいメニューを選択します。

- 1つ前のステップに戻るには、マルチセレクターの◀方向を押します。

7

▶を押すと、選択したメニューが設定されます。

- メニュー画面を終了するにはMENUボタンを押します。

セットアップメニュー画面には次のメニュー項目があります。

| メニュー項目 | 👁 |
|---|---|
| **画面の明るさ** | 77 |
| **カードフォーマット** | 78 |
| **日時設定** | 78 |
| **パワーオフ設定** | 79 |
| **ビデオモード** | 79 |
| **言語（LANG）** | 80 |
| **USB** | 80～81 |

## 画面の明るさ

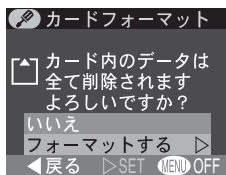
マルチセレクターの▲または▼を押して、緑色の矢印で液晶モニタの明るさを調整します。

## カードフォーマット

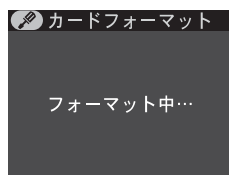
コンパクトフラッシュカードをフォーマットする場合に使用します。

コンパクトフラッシュカードをはじめて使用する場合には、カードのフォーマットが必要です。

コンパクトフラッシュカードをフォーマットする手順は次の通りです。

1

マルチセレクターの▲または▼で「フォーマットする」を選択します。

- フォーマットを行わない場合は「いいえ」を選択して▶を押してください。

2

▶を押すとフォーマットが開始され、「フォーマット中」というメッセージが表示されます。

- フォーマットが終了すると、セットアップメニュー画面に戻ります。
- フォーマットすると、フォルダ名とファイル名はリセットされます。

## 日時設定

カメラに内蔵された時計の日付と時刻を設定します。くわしくは、「撮影前の準備」をご覧ください(13)。

### カードフォーマット中のご注意

**フォーマット中**のメッセージが液晶モニタに表示されている間は、電源を切ったり、コンパクトフラッシュカードを取り出したりしないでください。

### フォーマットする前に

カードをフォーマットすると、カード内のデータは全て消去されます。フォーマットする前に保存したい画像をパソコンに転送することをおすすめします。

## パワーオフ設定

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を設定します。バッテリーを使ってカメラを操作する場合、初期設定では約1分間カメラの操作を行わないとオートパワーオフ機能が作動し、カメラの電源が自動的にOFFになります。

- オートパワーオフ機能に切り換わるまでの時間は、30 s（30秒）、1 m（1分）、5 m（5分）、30 m（30分）のいずれかに設定できます。
- 再起動する場合は、電源スイッチをいったんOFFにした後、再度電源スイッチをONにしてください。

## ビデオモード

ビデオの出力方式を選択します。カメラに接続するビデオ出力方式に合わせて設定してください。

| 設定 | 内容 |
|---|---|
| **NTSC** | カメラをNTSC形式のビデオに接続する場合に使用します。（日本国内のビデオ出力方式） |
| **PAL** | カメラをPAL形式のビデオに接続する場合に使用します。（欧州のビデオ出力方式） |

### オートパワーオフ機能

オートパワーオフ機能ではバッテリーの消耗を抑えるため、カメラの機能をすべて停止し、レンズも格納されます。カメラの電源として、ACアダプタEH-53（別売；84）を使用している場合は、オートパワーオフ機能に切り換わる時間は30分間に固定されます。また、USBでパソコンと接続している場合は、オートパワーオフは機能しません。

## 言語（LANG）

メニューやメッセージを表示する言語を選択します。De（ドイツ語）、En（英語）、Fr（フランス語）、日（日本語）、Es（スペイン語）のいずれかに切り換えることができます。

## USB

USBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続する（33）前に、ご使用のパソコンのOS（オペレーティングシステム）および画像を転送する方法に合わせて、USB通信方式を選択します。画像を転送するには、カメラのボタンを使用する方法と、Nikon View 5の ボタンを使用する方法があります。初期設定は「Mass Storage」に設定されています。

<table>
<tr><th rowspan="2">OS</th><th colspan="2">USB通信方式</th></tr>
<tr><th>カメラの<br>ボタン</th><th>Nikon View 5の<br>ボタン</th></tr>
<tr><td>Windows XP Home Edition<br>Windows XP Professional</td><td colspan="2">PTPまたはMass Storage</td></tr>
<tr><td>Mac OS X（10.1.3以降）</td><td>PTP</td><td rowspan="2">PTPまたはMass Storage</td></tr>
<tr><td>Mac OS X 10.1.2</td><td>－*</td></tr>
<tr><td>Windows 2000 Professional<br>Windows Millennium Edition (Me)<br>Windows 98 Second Edition (SE)<br>Mac OS 9 (9.0, 9.1, 9.2)</td><td colspan="2">Mass Storage</td></tr>
</table>

* Mac OS X 10.1.2をご使用の場合は、カメラのボタンでは画像を転送できません。画像を転送する場合は、Nikon View 5の ボタンを使用してください。

## Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE、Mac OS 9をご使用の場合のご注意

COOLPIX 2000をパソコンに接続する場合、セットアップメニューの「USB」を“PTP”に設定しないでください。
（初めてカメラをお使いになる場合の設定〔初期設定〕は、“Mass Storage”となっています）。

「USB」を“PTP”で設定して、上記OSのパソコンと接続した場合には、下記の要領でパソコンとの接続を外してください。

再度パソコンと接続する場合は、必ず「USB」を“Mass Storage”に変更した後、パソコンと接続してください。

Windows 2000 Professionalの場合：
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows Meの場合：
「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows 98SEの場合：
「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Mac OS 9の場合：
「USB装置“Nikon Digital Camera E2000_PTP”に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを捜しますか？」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

# 付録

この章ではカメラのお手入れ方法、別売アクセサリー、警告表示が表示された場合やカメラがうまく作動しない場合の対処方法、およびカメラの仕様などについて説明します。

## 別売アクセサリー

COOLPIX2000には次の別売アクセサリーを使用できます。くわしくは販売店にお問い合わせください。

| | |
|---|---|
| ACアダプタ | ACアダプタEH-53 |
| ソフトケース | ソフトケースCS-CP12 |
| コンパクトフラッシュカードアダプタ | PCカードアダプタEC-AD1 |
| モニタフード | LCDフードHL-CP11 |

### 使用できるコンパクトフラッシュカード

付属のコンパクトフラッシュカード、およびニコンコンパクトフラッシュカードEC-CFシリーズ以外に、次の他社製カードが動作確認されております。

- SanDisk社製
  SDCFBシリーズ　16 MB、32 MB、48 MB、64 MB、96 MB、128 MB
- LEXAR MEDIA社製
  4X USBシリーズ　8 MB、16 MB、32 MB、48 MB、64 MB、80 MB
  8X USBシリーズ　8 MB、16 MB、32 MB、48 MB、64 MB、80 MB
  10X USBシリーズ　128 MB、160 MB

その他のメーカーのコンパクトフラッシュカードについては動作の保証はいたしかねます。上記コンパクトフラッシュカードの詳細については、各社にご相談ください。

# カメラの取り扱い上のご注意

### ●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズに無理な力を加えたりしないでください。

### ●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

### ●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

### ●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

### ●お手入れ方法について

手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

保護ガラスや液晶画面が汚れたときは、ブロアーでゴミやホコリを吹き払い、汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固いもので拭くと傷になりますのでご注意ください。

### ●保管する際には

カメラを長期間使用しないときは、電池を必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安に電池を入れカメラを操作することをおすすめします。

### ●電池やACアダプタを取り外すときは必ず電源オフの状態で行ってください

電源オンの状態で、電池の取り出し、AC アダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記操作は、行わないでください。

### ●液晶モニタについて

液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。記録される画像には影響はありません。

- 屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
- 液晶モニタ画面を強くこすったり、強く押したりしないでください。表示パネルの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

### ●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

# カメラのお手入れ方法

## クリーニングについて

### レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、直接手で触らないようにご注意ください。ほこりや糸くずはブロアーで払います。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布でレンズのガラスの中心から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。

### 液晶モニタ

ほこりや糸くずはブロアーで払ってください。指紋や油脂などの汚れは柔らかな乾いた布で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

### カメラ本体

ブロアーを使ってほこりや糸くずを払い、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。海辺などでカメラを使用した後は、真水をしめらせた柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取り、よく乾かします。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

## 保管について

長期間カメラを使用しないときは電池を取り出してください。電池を取り出す前にカメラの電源スイッチがOFFになっていること、レンズ部がカメラボディ内に収納されていることを確認してください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または−10℃以下の場所
- 湿度が60％を超える部屋

# 電池の取り扱いについて

## ●電池使用上のご注意

- 電池を電源として長時間使用した後は、電池が発熱していることがありますので注意してください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池は使用しないでください。
- 電池容量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチをON/OFFを繰り返さないでください。

## ●予備電池を用意する

撮影の際は、予備電池をご用意ください。特に、海外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

## ●低温時の電池について

電池には一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温で使用する場合は、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

## ●低温時には容量の十分な電池を使い、予備の電池を用意する

低温時に消耗した電池を使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は新しい電池を使用し、保温した予備の電池を用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

## ●長時間のご使用について

電池を電源として長時間ご使用になる場合には、ニッケル水素電池等充電式電池のご使用をおすすめします。

## ●電池の接点について

電池の接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、電池を入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

## ●電池の残量について

電池の特性上、残量がなくなった電池を再度カメラに入れた場合、電池の残量が十分な状態を示す（バッテリー表示が何も表示されない状態）ことがありますのでご注意ください。

## ●ニッケル水素電池について

- ニッケル水素電池は、容量が残っている状態で繰り返し充電されると、メモリー効果が発生して早めにバッテリー残量警告が表示されることがあります。最後まで使い切って充電することで正常な状態に戻ります。

  ※ メモリ効果：一時的に電池の容量が低下したような特性を示す現象
- ニッケル水素電池は、使用しないときでも自然放電により容量が低下します。ご使用になる直前に充電することをおすすめします。

## ●ニッケル水素電池のリサイクルについて

ご使用済みのニッケル水素電池は貴重な資源です。ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。＋端子にテープ等を貼り付けて絶縁してから当社サービス部門やリサイクル協力店へご持参ください。

## 商標説明

- CompactFlash™（コンパクトフラッシュ）は米国SanDisk社の商標です。
- Microsoft®およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、QuickTimeは米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- Pentiumは米国インテル社の登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

## インターネットをご利用の方へ

ニコンデジタルカメラの最新情報は、下記のアドレスのホームページ上でご覧いただけます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

## 故障かな？と思ったら

カメラが正常に作動しないときは、お買い上げの販売店や当社サービス部門にお問い合わせいただく前に、下表の項目をご確認ください。点検しても直らない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス部門までお問い合わせください。

| こんなときは | ここをご確認ください | 参照ページ |
|---|---|---|
| 液晶モニタに何も映らない | • カメラの電源が入っていません。<br>• 電池が正しく装着されていません。または電池室カバーがしっかりと閉まっていません。<br>• 電池の残量がありません。<br>• ACアダプタEH-53（別売）が正しく接続されていません。<br>• パワーオフ機能が作動し、カメラの電源がOFFになっています。<br>• USBケーブルが接続されています。 | 16<br>10、11<br>17<br>84<br>79<br>32 |
| カメラの電源が突然切れる | • 電池の残量がありません。<br>• 電池の温度が低すぎます。 | 17<br>87 |
| 液晶モニタに画質モードなど、カメラの設定内容の情報や画像情報が表示されない | • 設定情報や画像情報を非表示にセットしている可能性があります。設定情報または画像情報が表示されるまでマルチセレクターの◀ボタンを押してください。 | 7 |
| 液晶モニタの画面がよく見えない | • 周囲の光が明るすぎます。暗い場所に移動するか、別売のモニタフード HL-CP11 を使用してください。<br>• 液晶モニタの明るさを調整してください。<br>• 液晶モニタが汚れています。 | 84<br>77<br>86 |

| こんなときは | ここをご確認ください | 👁 |
|---|---|---|
| シャッターボタンを押し込んでも撮影できない | • カメラが再生モードになっています。<br>• 電池の残量がありません。<br>• 撮影可能コマ数が0になっています。コンパクトフラッシュカードに十分な容量がありません。<br>• ステータスランプが点滅しています：スピードライトの準備中です。<br>• 液晶モニタに「フォーマットされていません」というメッセージが表示されます：コンパクトフラッシュカードがCOOLPIX2000用にフォーマットされていません。<br>• 液晶モニタに「メモリ残量がありません」というメッセージが表示されます：コンパクトフラッシュカードに画像を記録する空き容量がありません。 | 48<br>17<br>17<br><br>20<br><br>78、92<br><br>17 |
| 撮影した画像が暗すぎる（露出不足） | • スピードライトが発光禁止になっています。<br>• スピードライトが指などでさえぎられています。<br>• 被写体がスピードライトの光が届かない位置にあります。<br>• 露出補正値が低すぎます（－側）。 | 44<br>45<br>95<br>65 |
| 撮影した画像が明るすぎる（露出過度） | • 露出補正値が高すぎます（＋側）。 | 65 |
| ピントが合わない | • オートフォーカスが苦手な被写体です。 | 21 |
| 画像がブレる | • 撮影中にカメラが動きました。次の方法で再度撮影してください。<br>－スピードライトを使用してください。<br>－BSS（ベストショットセレクタ）機能を使ってください。<br>－三脚を使用して、カメラを安定させてください（セルフタイマーを使うと効果的です）。 | <br><br>44<br>64<br><br>41 |
| ノイズが発生し、画像がザラつく | • シャッタースピードが遅すぎます。速いシャッタースピードで撮影するにはスピードライトを使用してください。<br>※ シーンモードの夜景ポートレートが セットされている場合は、シャッタースピードの低速時にノイズ軽減機能が自動的に作動します。撮影状況に合わせてこれらのシーンモードにセットすることをおすすめします。 | 28<br>44 |

| こんなときは | ここをご確認ください | 参照ページ |
|---|---|---|
| スピードライトが発光しない | • スピードライトが発光禁止になっています。次の場合、スピードライトは自動的に発光禁止になりますのでご注意ください：<br>－連写またはマルチ連写が選択されている場合<br>－ BSS がオンになっている場合<br>• 電池残量が少なくなっています。 | 44<br>63<br>64<br>17 |
| 画像の色合いが不自然になる | • 適切なホワイトバランスが選択されていません。 | 60 |
| MENU ボタンを押してもメニューが表示されない | • 撮影モードが動画にセットされています。 | 28 |
| 画像を再生できない | •パソコンか他社製のカメラで、画像が上書きされました。または名前が変更されました。 | — |
| 1 コマ再生画面で SMALL PIC. ボタンを押してもスモールピクチャーを作成できない | • モードが再生モードになっていません。再生モードに切り換えてください。<br>• 表示画像が動画です。スモールピクチャーは静止画像からのみ作成できます。<br>• 表示画像がスモールピクチャーです。コンパクトフラッシュカードの空き容量が少ない場合、スモールピクチャーを作成できない場合があります。画像の削除などを行って、空き容量を確保してから作成してください。 | 49<br>53<br>17 |
| 再生時や簡易再生モードで画像の拡大表示ができない | • 表示画像が動画です。<br>• 表示画像がスモールピクチャーです。 | 51<br>53 |
| カメラをパソコンに接続時、またはコンパクトフラッシュカードをカードリーダーやカードスロットに挿入したときに、Nikon View 5が自動的に起動しない | • カメラの電源スイッチが OFF になっています。<br>• AC アダプタ EH-53（別売）が正しく接続されていません。または電池の残量がありません。<br>• USBケーブルが正しく接続されていません。またはカードがカードリーダー、カードアダプタ、またはカードスロットに正しく挿入されていません。<br>• カメラのデバイス登録が正しく行われていません。<br>Nikon View 5については付属のNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご参照ください。 | 33<br>—<br>32<br>— |

## 警告メッセージについて

液晶モニタに下記の警告メッセージが表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処方法をご確認ください。

| 液晶モニタの表示 | 原因 | 対処法 | 👁 |
|---|---|---|---|
| (時計アイコン)（点滅） | カメラの時計が設定されていません。 | 日付と時刻を設定してください。 | 13 |
| 電池残量がありません | 電池の残量がありません。 | カメラの電源スイッチをOFFにして電池を交換してください。 | 17 |
| AF●（フォーカス表示の点滅） | ピントを合わせることができません。 | シャッターを半押しして被写体と同じ距離のものにピントを合わせ、そのまま構図を元にもどして撮影してください。 | 21 |
| (手ブレアイコン) | シャッタースピードが低下して手ブレのおそれがあります。 | 次の方法でカメラを安定させてください。<br>• スピードライトを使用する<br>• 三脚を使用する<br>• 安定した場所に置く<br>• 体に肘を付けて、両手でしっかりとカメラを固定する | 21、26 |
| メニューはありません | 撮影モードを動画にしたままMENUボタンを押しました。 | メニュー画面を表示するにはAUTO、またはシーンモードにセットしてからMENUボタンを押してください。 | 28 |
| (砂時計アイコン) | • 再生モードに切り換えデータをコンパクトフラッシュカードから読み込んでいます。<br>• 動画開始後データの読み込みを完了して動画の再生を開始しようとしています。<br>• 連写モード、動画モードの撮影が終了し、コンパクトフラッシュカードに書き込んでいます。 | 記録終了時にメッセージが消えます。 | 54 |
| (カードなしアイコン)<br>カードが入っていません | カメラがコンパクトフラッシュカードを認識できません。 | 電源スイッチをOFFにして、コンパクトフラッシュカードが正しく挿入されていることを確認してください。 | 11〜12 |
| (カードアイコン) | 撮影後コンパクトフラッシュカードにデータを書き込んでいます。 | 記録終了時にマークが消えます。 | 21 |

| 液晶モニタの表示 | 原因 | 対処法 | 👁 |
| --- | --- | --- | --- |
| このカードは使用できません | コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。 | • 動作確認済みのコンパクトフラッシュカードをご使用ください。<br>• カードの端子部分が汚れていないかご確認ください。カードが破損している場合は販売店、または当社サービス部門にご相談ください。 | 84<br>— |
| フォーマットされていません<br>フォーマットする<br>いいえ ▷<br>はい | コンパクトフラッシュカードがCOOLPIX2000仕様にフォーマットされていません。 | マルチセレクターの▲ボタンを押して、「フォーマットする」を選択し、▶を押してカードをフォーマットするか、カメラの電源スイッチをOFFにして、適切なカードに交換してください。 | 78 |
| メモリー残量がありません | 画像を記録する空き容量がありません。 | • 画質モード、または画像サイズを変更してください。<br>• 不要な画像を削除してください。<br>• 新しいカードを挿入してください。 | 58～59<br>17<br>12 |
| | 画像を転送するための通信情報を書き込む容量がありません。（カメラとパソコンを接続し、〜ボタンを押した場合のみ） | 不要な画像を削除し、再度〜ボタンを押してください。 | 32～33、68～69 |
| 画像を登録できません | • コンパクトフラッシュカードのフォーマットが異なります。 | • コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。 | 78 |
| | • 画像の保存中にエラーが発生しました。<br>• ファイル番号のオーバーフローです。<br>• 再生メニューの「選択画像の削除」、「プロテクト設定」、プリント指定」で51枚以上の画像を選択しています。 | • 新しいコンパクトフラッシュカードに入れ換えるか、画像ファイルを削除してください。<br>• 選択画像を50枚以下にするか、QUICK▶ボタンを押して、いったん選択を確定し、再度再生メニューで選択操作を繰り返してください。 | 68～69 |
| 表示可能な画像がありません | コンパクトフラッシュカードに撮影された画像が入っていません。 | • レビュー再生モード時：シャッターボタンを押して撮影してください。<br>• ▶（再生）モード時：撮影画面に戻って撮影してください。 | 23<br>48 |

| 液晶モニタの表示 | 原因 | 対処法 | |
|---|---|---|---|
| このファイルは<br>表示できません | • パソコン<br>• 他社のカメラ<br>• 他のCOOLPIXのHIモード<br>上記のいずれかで作成したファイルです。 | • ファイルを削除してください。<br>• コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。 | 68～69<br>78 |
| 通信エラー | パソコンに画像転送中、インターフェースケーブルの接続が外れたか、コンパクトフラッシュカードが取り出されました。 | パソコンのモニタに警告メッセージが表示された場合、[OK] をクリックしてNikon View 5を終了してください。電源スイッチをOFFにした後、ケーブルを再接続するか、コンパクトフラッシュカードを交換して、もう一度電源スイッチをONにしてください。 | 34 |
| | ご使用のパソコンのOS、カメラのUSB通信方式の組み合わせでは、カメラのボタンは使用できません。 | カメラの電源をOFFにセットし、いったんUSBメニューを変更し直した後、パソコンと再度接続してください。この操作で警告メッセージが消えない場合には、Nikon View 5の転送ボタンをご使用ください。 | 32 |
| 転送マーキングされた<br>画像がありません | 転送設定された画像がないときに ボタンでパソコンに画像を転送しようとしました。 | カメラとパソコンの接続を外し、少なくとも 1 枚以上の画像に転送設定をセットして、再接続してください。 | 75 |
| 転送エラー | 画像転送中にエラーが発生しました。 | カメラとパソコンが正しく接続されていること、および電池の残量が十分であることを確認してください。 | 32～35 |
| システムエラー | カメラの内部回路にエラーが発生しました。 | 電源スイッチをOFFにして、ACアダプタを使用している場合はアダプタを外して、電池を取り出します。再度電池を入れて、電源スイッチをONにしてください。システムエラーの表示が続く場合は当社サービス部門までご連絡ください。 | 100 |
| カード不良があります | コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。 | • 動作確認済みのコンパクトフラッシュカードをご使用ください。<br>• カードの端子部分が汚れていないかご確認ください。カードが破損している場合は販売店、または当社サービス部門にご相談ください。 | 84<br>— |

## 主な仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 形式 | ニコンデジタルカメラE2000 |
| 有効画素数 | 2.0メガピクセル |
| 撮像素子 | 1/2.7型CCD、総画素数2.11メガピクセル |
| 画像サイズ | •1632×1224（1632）•1024×768（1024）<br>•640×480（640） |
| レンズ | 3倍ズームニッコールレンズ |
| 焦点距離 | f＝5.8～17.4 mm（35mm版換算38～114 mm） |
| 絞り範囲 | F2.8～F4.9 |
| レンズ構成 | 6群7枚 |
| 電子ズーム | 最大2.5倍（記録時） |
| オートフォーカス | TTLコントラスト検出方式 |
| 撮影距離 | 30cm～∞（マクロモード時は4cm～∞） |
| フォーカス | シングルAF（マクロモード時はコンティニュアスAF） |
| 液晶モニタ | 1.5インチ低温ポリシリコンTFT液晶、110,000画素 |
| 視野率（撮影時） | 約95% |
| 記録形式 | |
| 記録媒体 | コンパクトフラッシュカード（Type I） |
| 画像ファイル | Design rule for Camera File System（DCF）、<br>Exif2.2準拠、Digital Print Order Format（DPOF）準拠 |
| 圧縮 | JPEG-Baseline準拠 |
| 露出 | |
| 測光方式 | マルチ測光、中央部重点測光、スポット測光 |
| 露出制御 | プログラムオート<br>露出補正（±2.0EV、1/3ステップ）可能 |

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| シャッター | メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用 |
| シャッタースピード | 1～1/1000秒 |
| 絞り | 電磁駆動による開口選択方式 |
| 制御段数 | 2 |
| 撮像感度 | オート（ISO50相当、オートゲインアップ機能あり（最大ISO100相当）） |
| セルフタイマー | 10秒、3秒 |
| 内蔵スピードライト | |
| 調光範囲 | 0.4～2.7 m（広角側）<br>0.4～1.3 m（望遠側） |
| 調光方式 | 自動調光制御 |
| インターフェース | USBインターフェース |
| 電源 | •新品単三形アルカリ乾電池4本、単三形ニッカド電池4本、または単三形ニッケル水素電池4本使用<br>•ACアダプタEH-53（別売） |
| 連続撮影時間 | 約60分（単三電池4本使用時）<br>※ 測定条件は当社条件（撮影毎にズーム、約3割のスピードライト撮影、1632、NORMAL モード）によります。 |
| 大きさ | 約108（W）×69（H）×38（D）mm |
| 質量（重さ） | 約190g（電池、CFカード除く） |
| 動作環境 | |
| 温度 | 0～40℃ |
| 湿度 | 80%以下（結露しないこと） |

仕様中のデータは、すべて常温（20 ℃）、新品の単三形アルカリ電池を4本使用したときのものです。

電池の使用期間は、電池の種類および使用状況により異なりますのでご注意ください。電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により電池性能に差があるため、撮影時間が短い場合があります。

仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

使用説明書の誤りになどについての補償はご容赦ください。

## Nikon View 5動作環境（Windows）

| | |
|---|---|
| OS | Windows XP Home Edition/Professional、<br>Windows 2000 Professional、<br>Windows Millennium Edition（Me）、<br>Windows 98 Second Edition（SE）<br>すべてプリインストールモデル |
| 機種 | USBポート内蔵機種のみ |
| CPU | Pentium 300MHz以上 |
| RAM（メモリ） | 64MB以上推奨 |
| ハードディスク | Nikon View 5インストール時に25MB<br>Nikon View 5動作時に使用するコンパクトフラッシュカードの2倍＋10MB以上の空き容量（起動ディスク） |
| 解像度 | 800×600ドット以上、16-bitカラー以上 |
| その他 | インストール時にCD-ROMドライブが必要 |

## Nikon View 5動作環境（Macintosh）

| | |
|---|---|
| OS | Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X（10.1.2以降） |
| 機種 | iMac、iMac DV、Power Macintosh G3（Blue&White）、<br>Power Mac G4以降、iBook、PowerBook G3以降<br>USBポート内蔵モデルのみサポート |
| RAM（メモリ） | 64MB以上推奨 |
| ハードディスク | Nikon View 5インストール時に25MB<br>Nikon View 5動作時に使用するコンパクトフラッシュカードの2倍＋10MB以上の空き容量（起動ディスク） |
| 解像度 | 800×600ドット以上、16-bitカラー以上 |
| その他 | インストール時にCD-ROMドライブが必要 |

# 索引

## タ



## ナ



## ハ



## マ



## ヤ



## ラ

# カスタマーサポートについて

## ■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたら下記のニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

〒140 - 0015
東京都品川区西大井 1 - 4 - 25（コア・スターレ西大井第一ビル 2F）
ニコンカスタマーサポートセンター

TEL 0570 - 02 - 8000

受付時間：祝日を除く月～金（9：30 ～ 18：00）
＊このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

- お電話は、市内通話料金でご利用いただけます。
- 全国共通電話番号「0570 - 02 - 8000」にお電話いただき、音声によるご案内にしたがってご利用の製品グループ窓口の番号を入力していただければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせていただきます。
- 携帯電話、PHS 等をご利用のお客様は、**03 - 5977 - 7033** におかけください。
- FAX でのご相談は、**03 - 5977 - 7499** におかけください。

## ■お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

## ■製品の修理に関するお問い合わせは

〒140 - 8601
東京都品川区西大井 1 - 6 - 3
株式会社ニコン　大井サービス課
TEL　03 - 3773 - 2221　受付時間：祝日を除く月～金（9：00 ～ 17：45）
＊都合により休む場合があります。

## ■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

TEL 0570 - 02 - 8000　FAX 03 - 5977 - 7499

## 【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください。

お問い合わせ年月日：　年　月　日

お買い上げ年月日：　年　月　日

製品名：　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　□会社
〒

TEL：
FAX：

ご使用のパソコンの機種名：
メモリ容量：　ハードディスクの空き容量：
OS のバージョン：　ご使用のインターフェースカード名：
その他接続している周辺機器名：
ご使用のアプリケーションソフト名：
ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン：

問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください。）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：